

分野 ドミニカ共和国	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
		年度																				
51年度	1																1					11,321
52 "																						6,254
53 "																						
54 "																						
55 "	1														1							11,155
56 "	5						2	2					1									71,686
57 "	2						1		1													80,620
58 "	2						1	1														101,553
59 "	3							1				1		1								110,242
60 "	4					1	2					1										146,531
61 "	1											1										113,720
62 "	1							1														71,530
63 "	4							3				1										68,932
元 "	3							3														50,183
2 "	1										1											53,421
3 "	1							1														55,971
合 計	32					2	6	14	1		1	4	1	1	1		1					985,068

青年海外協力隊派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
58年度																						621
59 "																						488
60 "	8					1		1	1				4				1					12,815
61 "	15		1					2					2				1	1	7		1	76,351
62 "	24		5				2	7	1	1			4				1	2	1			133,583
63 "	24		1					4	2				2				3	3	9			189,172
元 "	24		4				3	2	3	1	1		2				2	2	2		2	206,656
2 "	17		4					2	1	1			2		1		1	3	2			204,773
3 "	24		4		1			2		1			5				4	1	6			264,239
合計	136		19		1	1	5	20	8	4	1		21		1		12	13	27		3	1,088,698

ドミニカ共和国

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

No.	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機材供与経費 (千円)	
				年度	経費
1	消化器疾病検診機材 (同上47年度支出分)	サルバドル・ラガテア病院	46	2,873	
			47	67	
2	農業機材	労働省職業訓練所	47	3,131	
3	がん対策機材	国営DR・ルイス・E・アイバル病院	48	5,572	
4	食品分析検査用機材	ドミニカ輸出促進センター	50	10,378	
5	消化器検査機材(内視鏡)	国営DR・ルイス・E・アイバル病院	53	7,952	
6	無線システム訓練用機材	通 信 省	57	35,445	
7	塩害除去調査研究用機材	水 利 庁	58	10,864	
8	家畜人工授精用機材	農務省畜産局	59	20,297	
9	こしょう開発用機材	農 地 庁	60	21,652	
10	環境整備用機材	サントドミンゴ市	60	40,696	
11	稲作普及用機材	集団研修コース	60	4,080	
12	放送用機材	国営放送局	61	32,744	
13	環境整備用機材	サントドミンゴ市	63	35,820	
14	医療用機材	国立サントドミンゴ自治大学	2	35,844	
15	食品品質管理用機材	サントドミンゴ自治大学	3	21,991	
計	15 件			289,406	

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
消化器疾患研究・臨床 プロジェクト	(要請の背景) 本病院は首都在の国立病院としては最 高のレベルにあり、国立サントドミンゴ	63	事前調査	63.11.15~ 63.11.28	6	7,428					7,428	
		元	実施協議	元.12.8~ 元.12.18	5	8,379		4	8,267	血球計算機 結腸内視鏡	16,135	32,781

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
(The Research and Clinical Project for Gastroenterological Diseases) R/D署名日: 元. 12. 14 協力期間: 2. 1. 1 ~ 6. 12. 31 所在地: サントドミンゴ市 先方関係機関: 保健省, 国立アイバール病院 わが方協力機関: 大分医科大学	大学医学部等の教育病院を兼ね、加えてカリブ諸国の研修員も受け入れている。 同病院では近年、消化器疾患分野の患者数の増加傾向が窺えるが、同分野における優秀なスタッフ、および診療機器の不足等により、十分な診療が困難となっている現状である。 かかる背景をもとに、昭和62年7月ドミニカ共和国は保健医療サービス拡充計画の一環として国立アイバール病院を拠点に、消化器疾患診療技術の向上を目的として我が国に対してプロジェクト方式技術協力を要請した。 (目的・内容) 双方で合意された技術協力の目的は 1) 臨床医学機能 2) 検査機能 3) 疫学的研究機能 4) その他 等のレベルアップを図ることとし、これらの分野で5年間にわたり専門家派遣、研修員の受け入れ、機材供与を行っていくこととした。	2			7,271		5	6	33,630	顕微鏡, 車輛	13,417	54,318
		3	計画打合	3. 6. 24~ 3. 7. 5	4	9,561	11	10	70,965	試薬類, 遠心沈殿管, 真空採血管, 生物学自動分析器用薬品	50,066	130,592

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)							
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)						
							継続	新規										
	(現状・目標達成) 無償資金によるセンターが正式にオープンして1ヶ年が経過し、ドミニカ共和国側のプロジェクト実施体制は整備されつつある。 [カウンターパート受入実績]																	
	<table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>元</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	元	2	3	人数	2	2	3									
年度	元	2	3															
人数	2	2	3															

保健医療協力事業(大学教授)

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
胃がん治療	(コロンビア、ドミニカ共和国) 中南米一般を参照のこと。	50					(2)	(844)			(844)	
消化器外科学		52					1	1,862	⑧	459	2,321	
外科学		54					2	1,557			1,557	
消化器内視鏡		55					1	1,119	⑧	392	1,511	
消化器内視鏡		56					1	895	⑧	758	1,653	
消化器内科学		58						989	⑧	161	1,150	
		59					1	111			111	
血液学		58						988	⑧	161	1,149	
		59					1	111			111	

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
ルイス・アイバル病院		57								腹腔鏡他	3,430	3,430
		58								ファイバースコープ	18,348	18,348

ドミニカ共和国

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
胡椒開発計画 (The Pepper Culture Development Project in the Dominican Republic) R/D等署名日： (R/D) 62. 7. 7 協力期間：(R/D) 62. 7. 7～4. 7. 6 所在地：サントドミンゴ市(HEAD OFFICE), サンフランシスコ・デ・マコリス市 先方関係機関： 農業省、農地庁	(要請の背景) ドミニカ共和国は主要輸出農産物である砂糖の価格低迷により国際収支が極めて悪化しており、「ド」国政府は農業生産改善のため、「食糧自給の達成」「輸出作物の開発」並びに「農産加工の振興」を農業政策の三本柱として、国内各地において農業開発等の事業を振興するとともに、農家の生産拡大への努力を重ねている。これに即応し、農地庁ではJICA個別派遣専門家の助力も得て、小規模農家の所得向上を図るとともに、輸出代替作物から将来輸出作物としても期待のもてる「胡椒」の導入を決め、これに対するプロジェクト方式による技術協力を要請してきた。	61	事前調査			3,073						3,073
		62	実施協議	62. 6. 27 ~ 62. 7. 11	4	24,550		5	62,340	育苗、病害研究施設等設備、噴霧器、消毒槽	29,345	116,235
		"	実施設計	62. 11. 12 ~ 62. 11. 26	4							
		"	計画打合	63. 2. 14 ~ 63. 2. 28	4							
		63	実施設計	元. 1. 10 ~ 元. 2. 23	4	8,725	5	5	89,187	冷却遠心器、分光分析装置、揚水機、噴霧器、土壤蒸気消毒機	82,554	180,466
		元	巡回指導	2. 1. 13 ~ 2. 1. 27	4	14,257	5	4	99,166	グレーダー、ブルドーザー、葉面積計、ダンブトラック	85,830	199,253
		2				115	7	7	154,261	クリーンベンチ、トラクター、分光光度計	49,293	203,669
		3				233	8	4	97,725	空気調整装置	17,547	115,505

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
我が方協力機関： 農林水産省	<p>(目的・内容)</p> <p>胡椒栽培に関する技術開発及び普及活動を通じ、「ド」国の農業開発に貢献することを目的とする。活動内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 胡椒の適応品種の選定と無保菌苗の増殖技術の確立 2. 白黒胡椒生産のためのポストハーベスト処理技術を含む胡椒栽培技術の開発 3. 胡椒の支柱木の選定と育成管理技術の開発 4. 本プロジェクトで設置されるトライアルファームにおける農民レベルでの試験栽培 5. 胡椒以外のその他の香辛料作物の導入・試作 <p>(現状・目標達成)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 詳細実施計画に基づき、プロジェクトの本格的な活動が開始され、農業省における試験研究が進められている。 2) カカオ試験場には育苗施設、試験圃場等が不足していたのでモデルイン 											

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)											
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)										
							継続	新規														
	<p>フラ整備事業により整備した。土壌病害や分析の試験を行う実験棟は平成2年に完成、機材の搬入が行われた。</p> <p>3) 農地庁入植地における展示農場の3ヶ所がパイロット・インフラ整備事業により建設され、本格的な試験栽培が開始された。</p> <p>4) 入植地各地での土壌調査が進み、栽培適地・不適地が判明してきている。</p> <p>5) 既存のコショウ病害の病原菌が同定された。</p> <p>以上、現行協力により幼樹段階の技術開発は一応完了できる見通しであるが、今後生産樹段階の技術開発と実証訓練が課題として残る。</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>年度</td> <td>62</td> <td>63</td> <td>元</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>	年度	62	63	元	2	3	人数	1	2	3	2	2									
年度	62	63	元	2	3																	
人数	1	2	3	2	2																	
農業開発計画	<p>昭和59年7月にドミニカ共和国を対象として実施された農林業協力プロジェクト・ファイナニング調査結果に基づき、同国よりシバ・オリエンタル地区に</p>	60	コンタクト	60.9.21 ~ 60.10.4	3	3,102					3,102											

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	おけるコショウ開発計画並びにネイバ地区における地類土壌改良計画を一本の農業開発計画として技協要請が出された。 対象分野が広範囲にわたっているため、分野の絞り込みとともに、実施体制の確認、対象地域の現況把握等を行うため、コンタクト調査団を派遣した。											
中米農業協力プロジェクト・ファインディング調査	(ドミニカ共和国、ホンデュラス) 中南米一般を参照のこと。	55	事前調査	55.8.30～ 55.9.20	(5)	(2,946)					(2,946)	
農林業協力(農業)プロジェクト・ファインディング	(ドミニカ共和国、ウルグァイ) 中南米一般を参照のこと。	59	事前調査	59.7.7～ 59.8.20	(5)	(3,866)					(3,866)	
塩類土壌改良計画		62				221		3	32,785		712	33,718
		63							788			788
海外農林業教育研究		62	基礎調査	62.8.8～ 62.9.4	5	4,930						4,930
プロジェクト基盤整備 事業巡回指導		63				1,396						1,396
現地業務費事務所ブール分		3							292			292

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	アグリボ (エルボソ) 農業開発計画調査	<p>同国政府が推進している入植計画の一環としてアグリボ地域の農業開発について協力の要請があった。その要請に基づき昭和54年度に事前調査を行った。その結果により55年度に基礎的調査である実施1次、2次調査をエルボソ地区約1万haについて実施した。プロジェクト地区はエスパニオラ島の北東部のナグア川河口に広がる湿地を含む凹状の沖積地で、土壌は農地に適しているが、灌漑排水に問題がある。同農業開発は灌漑排水施設の整備により稲作栽培を拡大し、入植農民の定着と強化を図るものである。</p>	54	事前調査	54. 10. 6~54. 10. 30	7	7,526
			55	実施調査	55. 3. 10~55. 4. 14	6	24,797
			55	事前調査	(報告書作成)		472
			55	実施調査	(報告書作成)		1,837
			55	実施調査	55. 7. 10~55. 7. 24	3	86,998
			55	実施調査	55. 8. 3~55. 10. 16	6	
			55	実施調査	55. 11. 18~56. 1. 16	4	
			55	実施調査	56. 1. 31~56. 2. 9	3	
			56	実施調査	56. 3. 24~56. 5. 2	1	
			56	実施調査	(報告書作成)		607
56	実施調査	56. 7. 1~56. 8. 24	12	74,416			
56	実施調査	56. 12. 6~56. 12. 15	4				
2	ラジオテレビ放送網拡充計画	<p>ドミニカ共和国の教育ラジオ・テレビ放送網拡充計画についてF/Sを実施するもので、本年度は事前調査団を派遣し、計画内容の確認、対象地域の踏査、所要資料の収集を行い、S/Wを締結した。</p> <p>昭和59年度は、現地調査、国内解析作業を実施し、ドラフト・ファイナルレポートを作成・提出した。</p> <p>昭和60年度は、ファイナルレポートを作成・提出した。</p>	58	事前調査	59. 3. 31~59. 4. 13	4	3,938
			59	実施調査	59. 8. 27~59. 10. 9	11	97,847
			60	実施調査	60. 1. 14~60. 3. 21	12	
			60	実施調査	(報告書作成)		
60	実施調査	(業務実施)		11,678			
3	アグアカテ・グアヤボ 地域農業開発計画	<p>食糧自給並びに農村での雇用安定を旨とし進められている農業開発計画の一環として、アグアカテ地区(5,660ha)、グアヤボ地区(6,880ha)を対象としたF/Sを行うもの。昭和59年度は事前調査団を派遣し、要請内容の確認とS/Wの締結を行った。</p> <p>昭和60年度は前年度締結されたS/Wに基づいて、F/Sの現地調査を2次にわたって実施した。</p> <p>昭和61年度は、最終年度として、ドラフトファイナルレポートの協議及びファイナルレポートの作成を行った。</p>	59	事前調査	59. 11. 18~59. 12. 3	5	6,029
			60	実施調査	60. 7. 3~60. 9. 15	12	82,556
			60	実施調査	60. 11. 18~61. 1. 31	15	
			61	実施調査	61. 1. 2~61. 3. 31	1	
			61	実施調査	61. 6. 10~61. 6. 18	4	119,120

ドミニカ共和国

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)	
4	サンベドロ・デ・マコリス港開発計画調査	サンベドロ・デ・マコリス市の土地利用計画等を含めた同港の長期開発計画の策定を行うとともに、老朽施設の短期改修計画についてF/Sを行うものであり、昭和60年度は、事前調査を実施した。 昭和61年度は、現地本格調査を実施した。 昭和62年度は、最終報告書案の説明・協議を踏まえ、最終報告書を作成、提出した。	60	事前調査	61. 2. 10~61. 2. 22	6	6,001	
			61	実施調査				100,966
			62	実施調査	62. 8. 31~62. 9. 14	6	42,188	
5	中米カリブ経済技術協力調査(プロジェクト選定確認)	最近の中米情勢の推移、並びに昭和62年9月、倉成外相(当時)が中米カリブ諸国歴訪の際、同地域との対話を通じ、同地域に対するわが国経済協力の効果的実施を促進するため、経済協力調査団を派遣する旨表明したこと等を踏まえ、各国政府及び国際機関との対話を通じて、今後のわが国の協力の方向を探るとともに、わが国援助スキームを説明、周知せしめ、優良案件の発掘を行うことを目的とした調査を実施した。	62	評価調査	63. 4. 6~63. 4. 25	(7)	1,063	
6	コンスタンサ地域畑地かんがい計画	首都サントドミンゴの西方約100kmに位置するコンスタンサ盆地約2,000haを対象として、年間を通じての安定的な野菜栽培に必要な灌漑用水を確保することを主目的とする、水源開発と施設改善を中心とした畑地灌漑計画策定に係るフィージビリティ調査を実施するものであり、昭和63年度は事前調査を実施し、実施細則を締結した。 平成元年度は本格調査を終了し、平成2年3月に最終報告書の現地説明を実施した。 平成2年度は平成2年7月に最終報告書を作成した。	63	事前調査	63. 11. 13~63. 11. 26	5	5,666	
			元	実施調査	元. 8. 28~ 2. 3. 29	24	145,788	
			2	"	(報告書作成)			4,825
7	西部地下水開発計画	本調査はハイティ国境に接するドミニカ共和国の最貧地域であり、生活用水不足が地域開発のネックになっている西部地区4県を対象として、地下水賦存量の評価を行い、生活用水供給計画を含む地下水開発計画を策定するものであり、平成2年度は元年度に締結した実施細則(S/W)に基づき本格調査に着手し、中間報告書までを作成した。 平成3年度は2年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書(案)まで作成した。	元	事前調査	2. 2. 4~ 2. 2. 20	5	9,713	
			2	実施調査	2. 10. 1~ 3. 1. 28	11	320,355	
			3	"	3. 7. 16~ 3. 7. 25	1	211,982	
			"	"	3. 7. 7~ 4. 2. 28	15		

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	サント・ドミンゴ市配電改修拡張計画調査	ドミニカ共和国政府よりサント・ドミンゴ市配電網近代化のためのF/Sおよび実施計画の要請があった。この要請に応じて事前調査を実施し、現地の電力需給、電力開発計画等の電力事情、サント・ドミンゴ市の電力事情、配電網の現状、改修、拡張計画について先方政府機関と協議し、次につなげるべきF/SのS/Wをとりまとめた。さらに上記事前調査結果をふまえ、F/S調査を実施するとともに国内設計作業を行った。 昭和55年度は昭和54年度に実施した配電システムの現状調査、建設資材の価格水準の現地調査の結果に基づき作成された報告書(案)を相手国政府に説明した。	54	海(事前)	54.10.14~54.10.27	2	5,641
			55	海	55.2.13~55.3.7	7	29,313
			55	海(報告)	55.7.28~55.8.6	1	11,213
2	ユナ川水力発電開発計画調査	本調査はドミニカ共和国中央部を流れるユナ川上流の水力発電開発計画に関するF/Sを実施するものである。 昭和56年度は本調査の実施に先立ちS/Wの署名を行った。 昭和57年度は各種資料収集、物理探査、ボーリング等を行い、結果を中間報告書としてとりまとめドミニカ共和国側に提出した。 昭和58年度は、ボーリングと水文調査および国内作業を行ったうえ、最終報告書ドラフト・レポートを作成し、ドミニカ共和国政府に説明を行った。 昭和59年度は、前年度に引き続き現地調査結果の国内解析を行って、最終報告書を作成し、ドミニカ共和国政府に送付した。	56	海(事前)	57.1.25~57.2.14	5	8,387
			57	海	57.6.30~57.3.31	23	179,603
			58	海	58.5.30~58.8.20	8	144,944
			58	海(報告)	59.3.11~59.3.19	2	
			59		(報告書作成)		13,797
3	鉱工業プロジェクト・フォローアップ調査	中南米一般を参照のこと。 (ドミニカ共和国、ペルー、コロンビア)	58	海(フォ)	58.8.28~59.9.16	(5)	(4,095)

ドミニカ共和国

資源開発協力基礎調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	ラスカニータス地域資源開発調査	ラスカニータス地域において、地質調査、地化学探査、物理探査等の手法により、鉱床賦存の可能性の調査を行う。昭和58年度は、全域(1,700km ²)において地質調査、地化学探査を実施した。 昭和59年度は、地質調査、地化学探査181km ² を実施した。	58	資	58.11.15~59.2.4	7	35,946
			58	資	(機材供与)		6,775
			59	資	59.7.24~59.10.27	7	78,213
			59	資	59.10.17~59.10.27		

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		昭和60年度は、3カ年計画の最終年次調査として、地質調査、地化学探査(6km)、物理探査(SIP6.5km)、ボーリング調査(5孔、1,000m)を実施し、ポーフィリーカッパー型の弱鉱化帯のほか、多数の銅鉱脈を把握した。鉱山総局は引き続き調査を予定しており、わが国は支援業務のため、昭和61年度にフォローアップ調査の実施を計画している。	59	資	(国内解析、報告書作成)		
			60	資	60. 7. 16~60. 11. 22	11	92,002
			61	資			6,523
2	資源開発調査プロジェクト選定調査	世界一般を参照のこと。 (コロンビア、ドミニカ共和国、ザンビア、ミャンマー、メキシコ)	58	資	58. 9. 9~58. 9. 21	4	(1,420)
3	資源開発調査フォローアップ調査	昭和58年度から60年度にかけて実施したラスカニータス地域資源開発調査の結果に基づき、商工省鉱山総局が実施するボーリング調査に対する技術支援として2人の技術者を派遣し、技術移転を行った。	61	資	61. 5. 31~61. 12. 30	2	16,362

[援助効率促進事業]

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト形成調査		63	プロジェクト形成調査	元. 3. 7~元. 3. 26	5	9,706
2	開発案件形成		3	企画調査員	3. 8. 2~4. 8. 1	1	4,783
3	胡椒開発	実験室建設	元	横断的評価調査	元. 12. ~ 2. 3.		4,432
		農林水産協力事業	3	案件別評価調査	4. 1. 11~4. 1. 26	5	6,193

[無償資金協力]

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額(億円)	調査年度	調査種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	食糧増産援助	食糧増産を図るため、農薬・肥料等の供与	60. 10. 17	3	60	実施促進	60. 10. 5~60. 10. 21	(2)	(1,407)
			61. 12. 19	3	61	"	62. 2. 11~62. 2. 24	(4)	2,033

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
			63. 4. 15	4	62	"	63. 3. 4~63. 3. 19	(1)	1,240
			63. 12. 16	4	63	"	63. 8. 13~63. 8. 27	(1)	2,248
			元. 12. 28	4	元	実施促進	元. 10. 28~元. 11. 7	(2)	1,218
			2. 10. 18	3	2	"	2. 4. 30~2. 5. 8	(1)	(1,639)
			3. 7. 25	3	"	"	2. 6. 25~2. 7. 9	(6)	
					"	"	2. 10. 14~2. 11. 3	(2)	
2	消化器疾患センター建設計画	ドミニカ共和国の主要な健康問題である消化器疾患に関する研究・診療施設を国立アイパール病院内に設立して国民の健康の向上に資する。	元. 8. 29	9. 28	63	基本設計(本)	元. 2. 11~元. 3. 10	10	32,012
			2. 8. 10	4. 85	元	"(報)	元. 5. 13~元. 5. 18	6	25,262
					2	実施促進	2. 6. 25~2. 7. 9	(6)	(1,639)
3	その他海外事務所執行分				2				1,190
4	国営テレビ局教育放送拡充 機材整備計画	国営テレビ局の教育放送拡充のために、番組制作機材の整備や送信施設の拡充を行う計画の策定。 平成2年度は、本格調査団を派遣した。	3. 7. 30	5. 27	2	基本設計(本)	3. 3. 31~3. 4. 23	7	1,976
					3	"(報)	3. 7. 8~3. 7. 19	5	36,593
5	沿岸漁業振興計画	沿岸水産資源量を把握し、この結果をもとに適正漁具漁法の開発と漁民への技術指導並びに普及による沿岸漁業振興計画。これに必要な資金の供与。	4. 4. 23	3. 88	3	基本設計(本)	4. 1. 15~4. 2. 7	6	18,852
					3	基本設計(報)	4. 3. 2~4. 3. 16	6	
6	その他海外事務所執行分				3				500

エクアドル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

エクアドル 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員		423,265	(2) 230	43,113	27	46,329	35	67,860	41	82,292	50	132,586	55	87,335	52	882,780	(2) 490
専 門 家		660,307	(1) 82	52,257	8	42,748	9	58,969	9	65,403	8	102,127	9	103,506	5	1,085,317	(1) 130
調 査 団		1,183,944	275	308,565	27	82,528	11	251,958	56	218,767	31	278,780	50	513,738	60	2,838,280	510
協 力 隊														39,829	8	39,829	8
機 材 供 与		504,998		164,353		86,908		77,266		24,319		89,318		76,566		1,023,728	
そ の 他		52,000		6,289		4,242		849						1,100		64,480	
合 計		2,824,514	(3) 587	574,577	62	262,755	55	456,902	106	390,781	89	602,811	114	822,074	125	5,934,414	(3) 1,138

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	(2) 490	12	38		(1) 52	(1) 15	85	20	8	9	56	19	27	35	17	4	3		88	1	1	882,780	
専 門 家	(1) 130			1	2		10	8			11	14	(1) 9	9			4		60		2	1,085,317	
調 査 団	510	3			68	41		53	9	52	72	44	51	52					44		21	2,838,280	
協 力 隊	8		1					1	1				1				1	1	2			39,829	
機 材 供 与																							1,023,728
そ の 他																							64,480
合 計	(3) 1,138	15	39	1	(1) 122	(1) 56	96	82	17	61	139	77	(1) 88	96	17	4	8	1	194	1	24	5,934,414	

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合 計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経 費 (円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源					科 学 ・ 文 化
35年度	1					1															} 5,155	
36 "	1	1																				
37 "	3				1						2											
38 "	(1)2				1	(1)								1								
39 "	1					1															1,231	
40 "	5				1			2	1		1										4,337	
41 "	(1)6	1			(1)			2			2			1							6,511	
42 "	3				1						2										3,387	
43 "	4	1						1						2							3,589	
44 "	6	1			1		1							3							3,742	
45 "	10				1			2			2	2		1	1					1	9,721	
46 "	7				1		1				1	3	1								9,466	
47 "	8	1			1						2	1		1	1	1					10,308	
48 "	6				2		1				1		1			1					9,178	
49 "	8		1		2		2				2		1								13,603	
50 "	11		1		1		3						1	4	1						15,511	
51 "	11		1		2	1	1	1						3	1	1					19,672	
52 "	11		2		2		1							1	1	1	1		2		23,594	
53 "	11		1		1		1				2		1	2					3		23,519	
54 "	13	2			2		4								2				3		35,700	
55 "	15		1		1		6	2						1	1				3		39,022	
56 "	21	1			1	1	3	5			3		1		1				5		47,235	

エクアドル

エクアドル

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
57年度	15	1			3		6									1				4			39,236
58 "	18					2	7							2	1					6			34,700
59 "	17				2		6					3	1							5			32,739
60 "	16				2	1	4							3	1					5			32,109
61 "	27		1		1		6			1	3		1	2	1					10	1		43,113
62 "	35		6		1	1	4			2	1	3		4	1	1		1		10			46,329
63 "	41	1	6		3	1	7			1	3	4	2	1	3	1				8			70,061
元 "	50	1	5		6	1	7	3	1	1	6	3	6	1			1			8			87,715
2 "	55		7		5	3	9			1	1	7	3	4	3	1				11			132,586
3 "	52	1	6		7	2	5	2	2	2	10	4	5		1					5			88,974
合 計	(2)490	12	38		(1)52	(1)15	85	20	8	9	56	19	27	35	17	4	3			88	1	1	892,043

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
36年度	1							1															7,981
37 "	1							1															
38 "	1				1																		
39 "	1											1											5,051

エクアドル

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
40年度	1											1										3,509
41 "																						2,973
42 "	5											4		1								9,968
43 "	6											6										18,699
44 "																						8,333
45 "	3													2							1	5,495
46 "																						14,031
47 "	2													1							1	14,455
48 "																						18,280
49 "	(1)1				1								(1)									3,886
50 "	2													2								19,217
51 "	2													2								23,930
52 "	4													4								47,798
53 "	4													3	1							37,546
54 "	1							1														40,499
55 "	3									2					1							37,635
56 "	1									1												51,405
57 "																						37,601
58 "	1									1												24,016
59 "	1									1												32,841
60 "	3			1						1					1							62,283
61 "																						45,983

分野 エクスアドル	年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業		工業	商業・貿易	観光	人的資源				
	62年度	2					2															40,522
	63 "	3						1					2									55,812
	元 "	2					1				1											54,484
	2 "	1									1											67,327
	3 "	1					1															54,001
	合計	(1)53			1	2	10	4			2	14	(1)9	9							2	844,961

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野	年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業		工業	商業・貿易	観光	人的資源				
	57年度																					577
	58 "																					
	59 "																					488
	60 "																					
	61 "																					
	62 "																					
	63 "																					
	元 "																					
	2 "																					404

分野 年度	合 計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
3年度	8		1				1	1				1				1	1	2			45,291	
合 計	8		1				1	1				1				1	1	2			46,760	

エクアドル

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

エクアドル

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	自動車整備測定用機材	自動車整備工場	47	4,465
2	土質試験機材	電力公社	51	5,749
3	農業開発策定用機材	農政省地域農業国家計画局	56	35,483
4	訓練用通信システム	電気通信公社	59	37,670
5	救急車	国立ビルガバンパ病院	61	3,303
6	水産訓練用機材	商工漁業総合省マンタ水産学校	63	10,850
7	品質管理用機材	商工統合漁業省標準規格庁	3	49,615
計	7 件			147,135

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)		
							継続	新規					
微生物病研究対策 Research of Microbi- al Control 協定等の種類：R/D 協力期間： (当初) 52.4.1~57.3.31 (フォローアップ) 57.4.1~59.3.31 相手国機関： 国立衛生研究所	エクアドル政府は、昭和50年6月、野口英世博士生誕100年の記念事業の一環として、公衆衛生省の熱帯病研究に対する協力をわが国に要請した。 これに応えわが国は、昭和51年4月に事前調査団を派遣し、本プロジェクト実施の可能性につき調査した。 その結果、協力対象機関となる国立衛生研究所の人材、技術水準等を考慮し、電子顕微鏡学、ウイルス学、細菌学の分野を中心とした微生物研究をプロジェクト化することが最も効率的な医療協力を	50	事前調査	51.3.28 ~ 51.4.21	(5)	(3,096)						(3,096)	
		51	実施調査	51.10.28 ~ 51.11.12	4	4,343							4,343
		52					196		3	5,259	透過型電子顕微鏡	⑤ 1,516 105,905	112,876
		53						1	5	28,294	走査顕微鏡、遠心器	⑤ 244 66,867	95,405
		54	計画打合	55.3.9 ~ 55.3.23	3	2,994	2	6	25,386	ガスクロマトグラフ、乾燥器	⑤ 897 33,645	62,922	
		55	(同上報告書作成)			⑤ 210							71,767
		"				⑤ 198	2	3	20,555		⑤ 3,589 47,215		

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)																	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)																
							継続	新規																				
国内協力機関： 東北大学医学部	<p>実施するものと判断され、昭和52年4月討議議事録のとりまとめを終わり、向こう5カ年間にわたる医療協力が開始された。</p> <p>協力内容は、同国グアヤキル市にある国立衛生研究所に対し、ウイルス、寄生虫病学分野を中心とする熱帯病研究、特に免疫学、電子顕微鏡学、疫学等の技術の向上を図ろうとするものである。</p> <p>昭和57年3月には、エバリュエーション調査団を派遣して協力の成果について調査し、今後の方針について協議した結果、これまでに指導した技術の精度を高めるとともに技術を定着させるに必要であるとして2年間のフォローアップ協力を実施することとなった。</p> <p>(カウンターパート受入実績)</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td colspan="3">9</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	年度	52	53	54	55	56	57	58	人数	9			3	2	0	1	56	機材修理	56.7.22 ~ 56.8.6	4	④ 466 5,567						27,034
		年度	52	53	54	55	56	57	58																			
		人数	9			3	2	0	1																			
		57	エバリュエーション	57.3.10 ~ 57.3.26	4	④ 335 4,411	1	5	12,355		④ 3,362 538																	
		57	(同上報告書作成)			④ 241		2	20,784		④ 11,142 44,267	76,434																
		58	機材修理	59.1.29 ~ 59.2.19	5	8,126	2	3	44,141		④ 12,420	85,179																
		59	エバリュエーション	59.3.18 ~ 59.3.31	4	④ 109 4,567					15,816																	
		59	(同上報告書作成)			④ 185 270	2		5,739		④ 996 1,706	8,896																
		62	事後調査	62.11.15 ~ 62.12.7	(5)	2,620						2,620																
		63				46		2	2,907	超遠心機、光学機器、車輛	28,707	31,660																
元	アフターケア					1	2,863			2,863																		
消化器病研究対策 (Research and Control of Gastroenteric Diseases)	<p>(要請の背景)</p> <p>「エ」国は消化器系疾患による死亡率が約20%と極めて高く、社会保障公社は集団検診等を中心に消化器疾患の早期発見、的確な診断、治療技術の向上を目指</p>	59	事前調査	60.1.1 ~ 60.1.11	5	④ 520 5,286				5,806																		
		60	実施協議	60.8.18 ~ 60.8.29	4	4,847		2	2,134		6,981																	
		61								137,318	137,318																	
		62				147		4	4,220	82,598	86,965																	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
R/D署名日： 60.8.26 協力期間：(R/D) 61.1.1~2.12.31 所在地：キト市 先方関係機関： 社会福祉省、エクアドル社会保険公社 (I. B. S. S.) カルロス・アンドラーデ・マリン病院内 消化器癌診断センター 我が方協力機関： 順天堂大学、岩手医科大学、宮城県がん協会がん検診センター	している。なお中南米(チリ、ボリビア)では同分野での日本の協力成果が高く評価されている。 (目的・内容) 社会保障公社管轄カルロス・アンドラーデ・マリン病院内に建設予定の消化器癌診断センターに集検車を中心とした消化器疾患の早期診断体制を築き、診断能力の向上を図る。 (現状・目標達成) センター建設は、昭和62年5月完工し開所。62年度より専門家派遣を開始した。日本側の技術協力の計画的遂行により、エ国医師の技術は飛躍的に向上しており、内視鏡学分野でも高等技術を駆使するまでになっている。 [カウンターパート受入実績]	63	計画打合	63.10.29~ 63.11.5	4	3,770		1	5,388	内視鏡、内科腹腔鏡セット、X線機器消耗品	15,881	25,039
		元	巡回指導	元.12.10~ 元.12.15	3	6,420		3	6,485	内視鏡ファイバースコープ、高輝度光源装置、マルチフォーマットカメラ	19,347	32,252
		2				6,741		4	5,395	ファイバースコープ、ミクロトーム	25,004	37,140

年度	60	61	62	63	元	2
人数	1	3	3	3	2	2

保健医療協力事業（単発専門家）

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
循環器外科		61					(2)	(2,169)			(2,536)	
循環器内科		61					(2)	(2,169)			(2,536)	
微生物病研究対策		2					1	1,995		776	2,771	

エクアドル

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
消化器内科	(コロンビア, エクアドル) 中南米一般を参照のこと。	51					(2)	(1,255)			(1,255)	
		52							(137)			(137)
循環器科学		56					3	2,939		1,344	4,283	
放射線診断		58					1	897		3	900	
消化器内科学		58					1	898			898	
循環器病疫学調査		61					3	3,896		5,599	9,495	
消化器病理学		62					(3)	(1,870)			(1,870)	
		63				(26)	(3)	(1,767)			(1,793)	
放射線及び内視鏡		62					(3)	(1,870)			(1,870)	
		63				(26)	(3)	(1,767)			(1,793)	

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
感染症		2							車輛	18,707	18,707	

農林水産協力事業

エクアドル

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
農林業協力(水産) プロジェクト・ファイ ンディング	(エクアドル, パナマ, コスタ・リカ) 中南米一般を参照のこと。	59	事前調査	59.10.20~ 59.11.9	(3)	(671)					(671)	
国立養殖・海洋研究セ ンター計画 (The National Aquac- ulture and Marine Research Center Pro- ject) R/D等署名日: 2.4.6 協力期間: 2.8.1~7.7.31 (5年間) 所在地:エクアドル国 グアヤス州サンベド ロ マングラール アルト(キトから南 西300km) 先方関係機関: 国立沿岸技術学院 我が方協力機関: 農林水産省	(要請の背景) エクアドル国は同国第2位の輸出産業 であるエビ養殖業の安定的発展及び魚貝 類を含めた多角的な養殖業への転換を図 るため、無償資金協力で建設された国立 養殖海洋研究センターを拠点としたプロ 技協を昭和62年要請してきた。 (目的・内容) 水族病理学, 水族業養学, 魚貝類養殖 等に関する基礎研究及び応用研究につい て技術協力をを行い、もってエクアドル国 の養殖業の発展に寄与するものとする。 (現状・目標達成) 長期専門家3名が派遣され、調査研究 実施体制の整備及び詳細な年度別事業実 施計画の策定が行われ、本格的調査研究 に着手したところである。 (カウンターパート受入実績)	63	事前調査	元.4.4~ 元.4.18	5	5,193					5,193	
		元	実施協議	2.3.28~ 2.4.9	4	4,140		2	3,644		357	8,141
		2	計画打合	3.3.28~ 3.4.9	3	4,051		4	30,963	加温冷却タン ク, 超音波洗 浄器, 車輜	41,278	76,292
		3	巡回指導	4.2.29~ 4.3.14	4	4,214	4	4	54,396	液体クロマト グラフシステム, 実験用機材	7,078	65,688

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
海外農林業教育研究		63	事前調査	63. 8. 9~ 63. 8. 29	(4)	3, 116					3, 116	
		2				612					612	

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	アンデス・グループ多 国籍海運基礎調査	(チリ, エクアドル, コロンビア) 中南米一般を参照のこと。	47	実施調査	47. 11. 21~47. 12. 22	(3)	(2, 423)
2	グアヤス河橋梁架設計 画調査	キト〜グアヤキル間, カーニヤ〜アイラス両県を結ぶためグアヤス河に橋梁を架 設するための調査。	37	投	37. 5. 6~37. 7. 16	6	5, 352
3	コスタ地区(カタラマ 川流域)農業開発計画 調査	同国政府は, 大豆, メイズ, ソルゴー等の飼料用作物の国内需給の達成と主食で ある米の増産を図るため, コスタ地区ガイアス河流域の農業開発を策定するため, わが国に協力を要請してきた。同要請に基づき, 昭和55年7月に派遣された事前調 査団はガイアス河流域で現地踏査を実施し, その一支流であるカタラマ川流域のプ エブロ, ビエッホ周辺18, 000haを選定した。 昭和56年度は, 昨年度中に終了しなかった地形図作成を対象地域4地区に分け, 各々の農業開発計画を策定し, 最終報告書案の作成および説明を行った。	55	事前調査	55. 7. 4~55. 7. 24	6	12, 800
			"	実施調査	55. 11. 14~55. 11. 26	3	} 28, 890
			"	実施調査	55. 11. 14~56. 1. 13	5	
			56	実施調査	(技術費, 報告書作 成)		42, 214
			"	実施調査	56. 9. 6~56. 12. 5	17	} 45, 579
"	実施調査	57. 4. 10~57. 4. 20	6				
4	漁業開発計画基本設計 調査	同国政府の国家開発5カ年計画における漁業開発においては, 国民の食糧改善, 輸出振興, 零細漁民の生活確保と地域開発に主眼が置かれているが, この開発に関 連して同国政府は, 内水面養殖と水産学校教育の資機材について無償資金協力を要 請してきた。この要請に基づき, わが国は昭和55年7月に基本設計調査チームを派 遣し現地調査を実施するとともに報告書を作成し, 同国政府に提出した。	55	特	55. 7. 31~55. 8. 20	6	16, 160

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
5	グアヤキル市都市交通計画調査	<p>エクアドル国最大の人口を擁するグアヤキル市の都市交通問題を解決するため、交通網整備計画を策定し、これに基づきF/Sを行うもので、昭和56年度は、資料収集分析、交通調査を行った。</p> <p>昭和57年度はフェイズIのうち、前年度の現地作業結果に基づき国内解析作業を行い、ドラフト・ファイナル・レポートの作成を行った。</p> <p>昭和58年度は前年度作成したドラフト・ファイナル・レポートに対するエクアドル国側のコメントを受け、ファイナル・レポートを作成し、8月に提出した。</p>	56	事前調査	56. 8. 13~56. 8. 29	6	5,486
			"	実施調査	57. 4. 10~57. 9. 28	9	61,886
			57	実施調査	58. 1. 25~58. 2. 18	7	83,026
			"		(報告書作成)		375
			"	実施調査	57. 4. 14~57. 9. 28	4	85,531
			"		57. 8. 30~57. 9. 28	6	
58	実施調査	58. 5. 23~58. 6. 6	8	26,806			
6	経済技術協力調査	<p>中南米一般を参照のこと。</p> <p>(ペルー、エクアドル、コロンビア、ホンデュラス、コスタ・リカ)</p>	57	事前調査	57. 11. 6~57. 11. 26	(5)	(656)
7	零細漁民訓練計画	小規模沿岸漁業の振興を図るための訓練船供与に係る基本設計調査を実施した。	57	特	57. 10. 11~57. 10. 31	6	14,877
8	コスタ地区北部地図作成事業計画	<p>昭和58年に要請内容の確認、対象地域の概査を行い、地形図作成の対処方針を定めるコンタクト・ミッションの派遣を行った。</p> <p>昭和59年6月に事前調査団を派遣し地形図作成の対応方針をエクアドル政府と協議したが、同年12月同国より航空写真の持出しが禁じられている旨正式に通告があり、本件プロジェクトの実施はとりやめとなった。</p>	58	事前調査	58. 11. 21~58. 12. 5	6	6,169
			59	事前調査	59. 6. 1~59. 7. 7	8	16,213
9	グアヤキル市都市交通計画調査	<p>エクアドル国最大の都市であるグアヤキル市の交通問題を解決することを目的とし、M/Pにおいて優先プロジェクトとされた鉄道の新設計画(南北線13.5km)のF/Sを実施するものである。</p> <p>昭和59年度は59年11月に事前調査団を派遣しS/Wを締結した。</p> <p>昭和60年度は前年度の事前調査に基づいて、本格調査を開始した。</p> <p>昭和61年度は、最終報告書を作成・提出した。</p>	59	事前調査	59. 11. 3~59. 11. 17	5	5,481
			60	実施調査	60. 10. 2~60. 11. 30	20	159,500
			"	実施調査	61. 3. 10~61. 3. 24	6	
			61	実施調査	61. 9. 22~61. 10. 6	6	40,800
10	北東部森林資源調査	<p>北東部ナボ州のアマゾン地域100万haについて航空写真を撮り、集成写真図、林相図等を作成すると共に、重点地域10万haについて森林資源調査を行い、開発計画のガイドラインを策定するもので、昭和59年度は事前調査団を派遣しS/Wを締結した。</p> <p>昭和60年度は、調査の基礎としての航空写真の撮影、立木材積表の作成、森林本格調査に必要な林相区分基準、標本の設定法及び作業工程等を把握するための現地</p>	59	事前調査	59. 9. 25~59. 10. 13	7	9,370
			60	実施調査	60. 7. 1~60. 11. 4	7	62,279
			"	"	61. 1. 21~61. 3. 4	8	
			61	"	61. 7. 15~61. 8. 15	15	240,230
62	"	62. 10. 27~62. 12. 15	7	72,551			

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		調査を実施した。 昭和61年度は、調査対象地域100万haについての航空写真(1/20,000)を撮影し、集成写真図及び林相図を作成した。また、重点地域10万haについての森林資源調査を実施し、基本図(1/20,000)の作成、林相状況の分析、蓄積推定等を行った。 昭和62年度は、森林施業・開発計画調査を行い、また森林資源調査の取りまとめを行った。 昭和63年度は、最終報告書案の説明を行い、報告書を作成した。	63	実施調査	63. 7. 16～元. 3. 30	14	41,071
11	経済技術協力評価調査	中南米一般を参照のこと。 (エクアドル、メキシコ、ペルー)	60	評価調査	61. 2. 19～61. 3. 2	(3)	(1,115)
12	マナビ州零細漁港建設 計画	マナビ州マンタ港について沿岸漁業振興のための漁港整備計画を策定する。 平成元年度は、先方政府の意向確認及び要請内容を把握するための事前調査(予備)を実施した。 平成2年度は、インセプションレポートの説明・協議を行い、現地調査を実施した。同調査結果を含む進捗報告書を作成するとともに次年度の調査内容を含む中間報告書を作成した。 平成3年度は最終報告書(案)の現地説明を行い、その結果を最終報告書に取りまとめた。	元	事前調査	2. 4. 1～2. 4. 16	7	6,543
			2	実施調査	2. 12. 4～3. 2. 10	11	87,008
			3	"	3. 6. 10～4. 2. 7	10	79,477
13	マナビ州チョネ・ポルトヴィエホ水資源開発 計画	平成元年、プロジェクト形成調査により策定されたマナビ州水資源総合開発計画のなかで、高い優先度を付されたチョネ・ポルトヴィエホ川流域の導水計画に係るフィージビリティ調査を行うものであり、平成2年度は事前調査を実施し、実施細則(S/W)を締結するとともに、中間報告書までを作成した。 平成3年度は2年度に引き続き本格調査を実施し、中間報告書まで作成した。	2	事前調査	2. 11. 25～2. 12. 8	5	6,667
			3	実施調査	3. 5. 22～4. 3. 28	22	217,041
			"	"	(資機材等購送費)		
14	ツムバピロ灌漑計画	インバブラ州の州都イバラ市の北西に位置するツムバピロ地区1万3,000haを対象として、国内消費農産物の供給確保、輸出農産物の生産振興ひいては農民生活の安定向上を図ることを目的とする灌漑農業開発計画の策定に係るフィージビリティ調査を実施するものであり、平成3年度は、4年3月に事前調査を実施し、実施細則	3	事前調査	4. 4. 8～4. 4. 21	5	4,834

エクアドル

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		(S/W)を締結した。					

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	① (ブラジル、エクアドル、グアテマラ、メキシコ、ペルー)中南米一般を参照のこと。 ② (エクアドル、グアテマラ、ペルー)中南米一般を参照のこと。	47	海	47.10.23~47.11.19	(2)	(422)
			48	海	48.11.18~48.12.3	(2)	(529)
2	鉱物資源開発計画調査	マクチ銅鉱山の鉱床を中心に調査。	37	海	37.11.15~38.3.5	3	4,613
			38	海			189
3	電源開発計画調査	同国北部のカルチ県サンミゲルテカール水力発電計画に関するフィージビリティ調査。	40	海	41.2.24~41.4.9	5	6,034
			41	海			5,201
4	ミカ電源開発計画調査	キトー市南東80kmにありアマゾン河の支流に注ぐミカ河の水力開発計画に関するフィージビリティ調査。	43	海	43.8.14~43.10.12	6	14,069
5	電力長期開発計画調査	エクアドル電力公社が作成した電力長期5カ年計画(1973~1977年)を現状にあわせて見直すとともに、1984年末までの10カ年を対象としたエクアドル国全体の電力系統の骨格を形成する発電設備開発計画の最適案を技術的、経済的観点より策定するための調査を実施した。	49	海	50.1.20~50.3.20	6	20,205
			50	海	50.1.10~50.11.22	1	33,691
6	紙パルプ工場建設計画	エクアドル国北西部エスメラルダス地方の国有森林資源を活用し、パルプから紙までの一貫工場を建設するためのF/Sを実施することを目的とするものである。 昭和57年度は①エクアドル国側の要請内容等の具体的把握、②関連サイトの実情把握、③関連情報の収集、④本格調査に係るS/Wの協議を行いS/Wに署名した。 これに引き続いて、現地調査および現地調査結果をとりまとめた報告書(案)の現地説明を実施した。 昭和58年度は最終報告書を印刷・製本し、先方政府に送付した。	57	海(事前)	57.7.11~57.7.24	5	62,694
				海	57.10.2~57.11.5	9	
				海(報告)	58.2.19~58.2.28	4	5,930
			58	"	(報告書作成)		
7	代替エネルギー開発計画	エクアドル国では一人当りのエネルギー消費量が過去20年間に2.5倍もの割合で増加しており、今後ともこの傾向は続くものと思われ、エネルギー供給体制、特に	58	海(予備)	59.3.16~59.3.25	6	6,608
			59	"	(報告書作成)		158

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		石油に代わる代替エネルギーの供給体制の策定を急務としており、本調査はエクアドル国における代替エネルギー開発政策、開発状況、関係機関の組織力等の検討を行うものである。 昭和58年度は、要請内容の確認、関連サイトの概略踏査、関連データ・資料の収集を目的とした予備調査団を派遣した。 昭和59年度は、前年度実施した現地調査に基づき、報告書を作成した。					
8	チェスピ水力発電開発計画	本計画は、最大需要地（グアヤキル市）に近接して100MW程度の発電を行おうというものであり、平成4年の運転開始を構想している。 昭和59年度は事前調査によるS/Wの締結に引き続き本格調査の一部として、インセプションレポートを作成し、エクアドル政府に説明した。 昭和60年度はM/Pの再検討を行い、計画3地点のうちでチェスピ計画が最も経済的なプロジェクトであることを確認したうえで、地形測量、地質調査、電力調査、水文調査、社会環境調査等を行い、またその結果の国内解析により最適発電計画を策定した。	59	海（事前）	59. 7. 28～59. 8. 11	4	7,353
			"	海	60. 1. 10～60. 3. 10	9	41,097
			60	"	60. 6. 16～60. 12. 24	13	145,312
			61	"	61. 6. 29～61. 7. 19	3	25,723
9	エスメラルダス輸出加工区開発計画	エスメラルダス港隣接地を輸出加工区として開発し、国内外の投資家を対象に、とりわけ労働集約型の軽工業を誘致し、製品輸出をふやし、外貨獲得を行うことにより、エクアドルの経済開発に貢献しようとする計画を策定することを目的とするものである。 平成元年度は、予備調査を実施した。 平成2年度は、事前調査を実施し、実施細則（S/W）を締結した。 平成3年度は、本格調査を実施し、最終報告書を提出した。	元	海	2. 3. 11～2. 3. 26	6	6,793
			2	"	2. 9. 17～2. 9. 29	6	64,436
			"	"	3. 2. 17～3. 3. 24	10	
			3	"	3. 6. 11～3. 7. 5	7	117,746
			3	"	3. 10. 13～3. 10. 24	4	
10	鉱工業プロジェクト	（エクアドル、チリ）	元	海	元. 7. 1～元. 7. 16	(7)	4,258
11	鉱工業プロジェクト フォローアップ調査	（ブラジル、エクアドル）	3	海	3. 9. 22～3. 10. 5	(5)	9,079

資源開発協力基礎調査事業

エクアドル

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト選定調査	<p>金属鉱物資源開発を進めようとしている、あるいは進めるために協力要請がある開発途上国に対し、要請内容、受入体制、地質鉱床概況、既調査内容等の資源開発調査実施に関する諸条件を調査するものである。</p> <p>昭和62年度は、マレーシア、オマーン、トルコ及びエクアドルにおいて上記の調査を実施した。</p>	62	資	62.11.15~62.11.25	4	1,966
2	ポリバール地域資源開発調査	<p>ポリバール地域において銅、モリブデン、鉛、亜鉛の鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。</p> <p>昭和63年度は、地質調査・地化学探査(116km²)、物理探査(CSAMT36km²)、ボーリング調査(3孔、900m)を実施した。</p> <p>平成元年度は、地質調査・地化学探査(45km²)、物理探査(IP法24km²)、ボーリング調査(3孔、900m)を実施した。</p> <p>平成2年度は、地質調査(19km²)、物理探査(IP法9.6km²)、ボーリング調査(3孔、800m)を実施した。</p>	63	資	63.5.15~63.5.23	1	} 104,373
			"	"	63.8.2~63.12.1	12	
			元	"	元.7.2~元.11.16	8	98,489
			2	"	2.7.3~2.12.1	10	101,049
3	フニン地域資源開発調査	<p>フニン地域においては、斑岩型銅及びモリブデンの鉱化が知られ、その鉱床賦存状況を確認することを目的としている。</p> <p>平成3年度は、地質調査(124km²)、地質調査・地化学探査(準精査35km²、精査4km²)、ボーリング調査(1孔、150m)を実施した。</p>	3	資(事)	3.7.14~3.7.29	1	} 85,529
			"	資	3.9.23~4.1.8	9	

[援助効率促進事業]

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト形成調査	水資源開発 I・II・III	63	プロジェクト形成調査	63.6.11~元.3.25	15	46,000
2	プロジェクト形成調査	水資源開発 III	元	プロジェクト形成調査	元.6.22~2.1.31	7	84,550
3	プロジェクト形成調査	水資源対策 III	元	プロジェクト形成調査	元.4.27~元.6.10	2	2,750

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
4	プロジェクト確認調査	一般(コロンビア/エクアドル)	2	プロジェクト 確認調査	3. 4. 9~ 3. 4. 21	(4)	1,820
5	プロジェクト形成調査	環 境	"	プロジェクト 形成調査	2. 9. 25~ 2. 10. 5	1	925
6	消化器病研究対策		"	案件別評価調 査	2. 12. 4~ 2. 12. 14	4	4,442

エクアドル

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	漁業訓練計画	漁業資源の有効利用のため、漁業訓練及び研究に必要な漁業訓練船及び水産資源研究用機材の供与	53. 2. 28	5					
2	漁業振興計画	内水面漁業を発展させるための漁業訓練・研究を目的とする養殖用施設の建設及び養殖水産研究用・教育用機材の供与	56. 3. 26	5	55	基本設計	55. 7. 31~55. 8. 20	6	16,160
					55	実施促進	56. 1. 16~56. 2. 2	(2)	(787)
					56	実施促進	57. 3. 19~59. 4. 1	(2)	(896)
					61	フォローアップ	61. 8. 10~61. 8. 18	2	1,445
3	零細漁民訓練計画	沿岸漁業の振興に必要な漁業訓練船の供与	58. 4. 5	5.66	57	基本設計	57. 10. 11~57. 10. 31	6	14,877
					58	実施促進			31
4	国立養殖研究センター	養殖業、主にエビ養殖の発展、安定に寄与するため、養殖業者への技術移転、研修及び養殖にかかる研技を実施するうえでの施設、機材を供与する。	63. 11. 8	7.65	62	基本設計(事)	63. 2. 9~63. 2. 23	4	5,244
			元. 7. 21	6.20	63	" (本)	63. 5. 28~63. 6. 17	11	60,134
					"	" (報)	63. 8. 11~63. 8. 20	7	
					元	実施促進	元. 10. 23~元. 11. 4	(1)	522
5	キト市公共輸送力増強計画	近年の都市部の人口急増により、都市の中心部と周辺部を結ぶ公共輸送問題が深刻化している。これに対処するため、公共輸送バスを導入し、郊外バス路線の強化拡充を図るもの。これに必要な資金の供与	3. 12. 10	4.09					

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

エクアドル

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	コスタ地区飼料穀物開発協力	① 基礎一次調査 エクアドル国政府の要請にもとづき、エクアドル国における農業開発に対する日本側の協力の可能性について、特に民間が行う農業開発協力事業の促進を図る見地からエクアドル国の提示するとうもろこし、大豆、ソルゴー（コーリヤン）の三作物に限定して、これらの開発計画地域について、農業技術上の観点から調査し、これらの情報を広く国内関係者に提供することを目的とする。 昭和50年度は5名からなる基礎一次調査団を派遣した。 ② 基礎二次調査 上記基礎一次調査の結果をふまえ、飼料穀物の開発事業の可能性調査のため、昭和54年1月、9名からなる調査団を派遣し、飼料穀物栽培の実態、投資環境の具体的な把握等、現地調査および資料収集等を行った。	50	基礎一次調査	50. 10. 6～50. 10. 30	5	5,590
			53	基礎二次調査	54. 1. 21～54. 2. 17	9	9,116
			54		(同上報告書作成)		2,287
			〃	開発計画調査	54. 8. 6～54. 9. 7	6	6,052
			55		56. 4. 9～56. 4. 24	5	4,862

開発協力技術指導

専門家派遣

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
コスタ地区農業開発協力	53	4	54. 3. 30～54. 7. 29	6,959	飼料穀物(長期調査員)

〔災害援助等協力事業〕

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救援物資	所要経費(千円)
61	地震による土砂崩れ、川の氾濫	昭和62年3月5日～6日	死者 2,000名 行方不明 5,000名 損傷家屋 15万	地震による被災状況の把握、及び医薬品供与	3/14～3/21	総括 1名 災害調査 1名 業務調整 1名	テント、浄水器、毛布、医薬品(抗生物質等)	18,343

エル・サルヴァドル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員		211,506	(3) 122	12,160	9	20,438	12	25,062	12	22,860	18	62,672	22	24,385	21	379,083	(3) 216
専 門 家		284,565	30	3,277	15											287,842	45
調 査 団		92,745	30	760	1	3,101	1	5,178	1	820	1	5,241		5,203	4	113,048	38
協 力 隊		416,777	73													416,777	73
機 材 供 与		145,960		21,445												167,405	
そ の 他		2,829		2,638		208										5,675	
合 計		1,154,382	(3) 255	40,280	25	23,747	13	30,240	13	23,680	19	67,913	22	29,588	25	1,369,830	(3) 372

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉄工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉄 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(3) 216	3	5		(2) 32	6	(1) 40	3	4	7	2	8	33	8	3		18		36	2	6	379,083
専 門 家	45				6		8						8	1			6		16			287,842
調 査 団	38				14	14							9								1	113,048
協 力 隊	73				1	1	1	4					1		1		35				29	416,777
機 材 供 与																						167,405
そ の 他																						5,675
合 計	(3) 372	3	5		(2) 53	21	(1) 49	7	4	7	2	8	51	9	4		59		52	2	36	1,369,830

※ カッコは国際機関で外数である。

エル・サルヴァドル

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	2											2										6,727
36 "	5						1					4										
37 "	2											2										
38 "	1																1					
39 "	(1)5				(1)		2										3					1,220
40 "	(1)2				(1)		1										1					1,288
41 "																						
42 "																						
43 "																						
44 "	1																1					563
45 "	8						1	1				1	1		1						3	7,198
46 "	4				2																2	6,038
47 "	5				1		1										1		1		1	10,434
48 "	1							1														1,095
49 "	3						1					1	1									4,835
50 "	(1)12				5		(1)2						2				1		2			22,377
51 "	13	1	1				4						1	1			2		3			24,840
52 "	14				1		3						5	1			2		2			29,559
53 "	4						2										1		1			6,523
54 "	3						2												1			7,615
55 "	1																		1			1,546
56 "	7				2	1	2						1						1			14,154

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
57年度	8				1								5	1					1			23,105
58 "	6				1		2	1							1				1			12,411
59 "	7				1		2				2				1					1		11,494
60 "	8				2	2	2							1					1			18,484
61 "	9	1					2			3				1					2			12,160
62 "	12				1	1			2					1			2		4	1		20,438
63 "	12		1		1	1	2			2		1		1					3			25,062
元 "	18		1		3	1	2		1			1	3	1					5			22,860
2 "	22		1		5		4			1		3	3				2		3			62,672
3 "	21	1	1		6		2		1	1		1	3				1		4			24,385
合 計	(3)216	3	5		(2)32	6	(1)40	3	4	7	2	8	33	8	3		18		36	2	6	379,083

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
35年度	2						1						1									20,580
36 "	2						1						1									
37 "	2												2									
38 "	2						1						1									

エル・サルヴァドル

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信・ 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業・ 貿易	観 光	人 的 資 源	科 学・ 文 化				
39年度																						5,996
40 "	1											1										6,809
41 "	1						1															8,439
42 "	1											1										8,573
43 "	2						1							1								15,181
44 "	1				1																	13,260
45 "	3						1										2					17,767
46 "																						13,657
47 "	3																3					8,595
48 "																						21,466
49 "	3				3																	32,953
50 "	1				1																	24,543
51 "	3						1					1					1					42,794
52 "	2				1		1															46,146
53 "																						32,647
合計	29				6		8					8		1			6					319,406

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
43年度	11																11					11,399
44 "	2																2					15,539
45 "	13																13					30,066
46 "	10																				10	25,798
47 "	8																				8	96,787
48 "	3																3					36,811
49 "	6							2							1		3					42,055
50 "	8																2				6	52,057
51 "	4					1	1														2	58,923
52 "	4				1			1					1								1	63,062
53 "	4							1									1				2	49,409
54 "																						5,249
合計	73				1	1	1	4					1		1		35				29	487,155

エル・サルヴァドル

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

エル・サルヴァドル

No.	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機材供与経費 (千円)
1	機械自動車科用機材	エル・サルヴァドル国立工業高校	42	4,326
2	体育機材	教 育 省	48	7,354
3	医療機材	中央電気通信センター	51	2,504
4	地震工学用機材	集団研修コース	59	4,732
計	4 件			18,916

[プロジェクト方式技術協力]

社会開発協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団			専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)		
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)		主要機材名	経 費 (千円)
							継続	新規				
国立工業技術学校拡充 協力計画 協定等の種類：なし 署名年月日： 協力期間：	エル・サルヴァドル国立工業技術学 校は、昭和31年エル・サルヴァドル国の 首都サン・サルヴァドル市に設立され、 学科は(1)機械科、(2)自動車整備科、(3)電 気科、(4)電子科の4科である。 わが国の協力は、昭和35年10月の専門 家派遣に始まり延べ17名の専門家を派遣 した。 また、昭和45年度には本件を小型プロ ジェクトとして取り上げ、昭和45年度 15,168千円、昭和46年度11,943千円の機 材を供与した。その内訳は自動車部門に 1,216千円、測定用計器類に550千円、電 気部門に4,562千円、電子部門に3,557千 円、ラジオ・テレビ部門に2,020千円、工	35	事前調査	※2		
		36					※3	
		37					※3		
		38					※2	※3	
		39					※1		
		40					※2	※1	
		41					※2	※1	
		42					※2	※1	
		43					※2	※2	
		44					※3	※1	
		45					※4	※2	...	15,168	...	
		46					※4		...	11,943	...	
47					※1	※3			
48					※3				
49					※3				

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	具類を38千円等を供与し、エル・サルヴァドル国立工業技術学校の発展に大いに寄与した。	50					※1		…		…	

保健医療協力事業（単発専門家）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
消化器がん		49						1	975	④ 42	1,017	

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	新国際空港建設計画調査	大型機種乗り入れ可能な新国際空港を建設する計画についてのフィージビリティ調査。 昭和48年度は報告書を作成した。	47	実施調査	47. 11. 6~47. 12. 15	13	26,960
			48	報告書説明	48. 7. 13~48. 7. 27	5	6,637

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	中南米鉱工業プロジェクト選定確認調査	④（エル・サルヴァドル、ホンデュラス、パナマ、ヴェネズエラ） 中南米一般を参照のこと。	50	海	51. 3. 6~51. 3. 26	(2)	(561)
2	金属機械工業開発計画調査	エル・サルヴァドル国は、第4次5カ年計画を1978年よりスタートさせたが、この基本は工業化の促進にあり、とくに金属機械工業部門を開発するため、現在UNIDOの援助を得て同部門の基礎調査を実施中である。このような状況において、同部門	51	海	51. 11. 27~51. 12. 19	8	43,967
			52	海（報告）	52. 11. 12~52. 11. 20	1	8,340

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		開発のマスター・プランおよび上記調査より同国が選定した4業種（農機具、電気・ガス・水道メーター、小型コンプレッサー、工具類）のフィージビリティ調査をわか国に要請してきたので、技術的、経済的見地から開発の可能性を検討するため、昭和51年度に実施した現地調査にもとづき、52年度は報告書を作成し、現地説明を行った。					

〔援助効率促進事業〕

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	プロジェクト形成調査	人造りセンターI（コスタ・リカ、グアテマラ、エル・サルヴァドル、ニカラグア、ホンデュラス）	63	プロジェクト形成調査	63. 11. 21～63. 12. 16	(7)	1,815
2	プロジェクト確認調査	（ホンデュラス、エル・サルヴァドル）一般	2	プロジェクト確認調査	3. 3. 15～3. 3. 25	(5)	1,946

〔無償資金協力〕

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	首都圏公共輸送力増強計画	生産力回復の阻害要因の1つである公共輸送力の回復・増強を図るためのバス供与。	61. 1. 8	4	60	基本設計（事）	60. 6. 29～60. 7. 8	3	2,564
					60	実施調査	61. 1. 18～61. 2. 1	(2)	(1,210)
					61	実施促進	61. 9. 22～61. 10. 3	(2)	760
2	震災復旧計画	昭和61年10月に首都サン・サルヴァドルを襲った地震は直接的な被害に加えて壊滅した経済に更に打撃を与え、復興には幾多の困難を抱えている。同国政府はかかる事態に対処すべく、破壊されたインフラの復旧、雇用創出、住宅対策を掲げ、また、より中期的な復興計画として生産計画、公共投資からなる計画を	62. 2. 26	2.70	62	実施促進	62. 5. 18～62. 5. 29	1	899

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		策定した。本件は計画に基づき緊急に必要なインフラの復旧に必要な機械、とくに倒壊、半壊した建物の破壊除去作業に必要な機材の供与。							
3	サン・サルヴァドル市復旧計画	首都サン・サルヴァドル周辺の道路網は舗装が完備され道路交通状況は良好であったが、昭和61年首都を襲った大地震は疲弊した同国経済を更に悪化させ、その復興には多大な困難を抱えている。同国政府は「国家災害緊急復興計画」に基づいて損害を被ったインフラの復旧、修理、再建に必要な基本的インフラの建設を推進しているが、とくに重要なサン・サルヴァドル地区道路網の整備および幹線道路復旧を目的として本計画を策定し、実施に必要な機材の供与。	63. 3. 25	5	62				2,202
4	サン・サルヴァドル市固形排気物改修改善計画				63				1,491
5	首都圏清掃機材整備計画	エル・サルヴァドルの首都サン・サルヴァドルは、近年の人口増加に伴い、ゴミの増加が著しく、ゴミ収集機材の絶対数不足から約35%程度しか回収されていない。さらに現有機材の大半が老朽化してきているため、未回収ゴミは増加傾向にある。このため同国政府は「首都圏清掃機材整備計画」を策定し、この計画の実施に必要な機材の供与。	63. 11. 1	5.65	63	実施促進	63. 10. 26~63. 11. 12	(1)	380
					元	"	元 6. 30~元 7. 10	(2)	820
6	食糧増産援助	基礎穀物増産計画。	63. 12. 8	3	63				1,492

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		山岳地の小農を中心とし、共同営農方式により基礎穀物の増産を図り、小農の生活水準の向上を目指すべく肥料を調達する計画。これに必要な資金の供与。	元. 12. 15	3	2	実施促進	2. 10. 14～ 2. 11. 3	(2)	(3, 295)
			2. 10. 17	2. 50					
			3. 7. 30	3					
7	アカフトラ港荷役機材整備計画	アカフトラ港は同国の主要港のひとつであり、特に同国輸出入の90%を取り扱う唯一の国際港である。同港は1961年から76年にかけて整備され、81年には年間貨物取り扱い高は173万tに達した。しかしその後、荷役機材の過大な使用及び老朽化に伴い、荷役量は107万t(87年)にまで減少した。このため、アカフトラ港の荷役機材の更新を行う計画。これに必要な資金の供与。	2. 7. 12	4. 19	2	実施促進	2. 8. 21～ 2. 9. 6	(2)	(3, 205)
8	救急車整備計画	エル・サルヴァドルにおける救急医療体制は24時間体制の14の国立病院及びその下部組織としての診療所において実施されている。これら病院及び診療所に配備されている救急車はその絶対的不足状態から極めて高い出動状況にあるが反応時間が平均1時間を超えているため多くの救急患者はタクシーの利用を余儀なくされている。そこで同国政府は50台の救急車の購入に係る協力を我が国に要請してきたもの。	元. 12. 15	2. 46					
9	道路建設・補修機材整備計画	同国の道路状況の悪化に対処するため、道路建設・補修用の機材を供与。			3	基本設計(専)	4. 2. 29～ 4. 3. 20	4	5, 203
10	拠点病院医療機材整備計画	医療水準のきわめて低いエル・サルヴァド	3. 7. 30	4. 07					

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		ルは、厚生省の予算手当も不十分で、医療機 材の老朽化により使用不能となっている。か かる状況を改善すべく地方5県の拠点病院機 材整備を実施する計画。							

[災害援助等協力事業]

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救援物資	所要経費 (千円)
61	地震：ビル家 屋倒壊	昭和61年10月10日	死者 負傷者 被災者 1,200人 1万人 15万人	①地震による被災状況 の把握 ②エ国側の援助要請内 容の確認 ③救急医療活動及び救 出救助活動 ④医薬品供与	第一チーム 10/11 ~ 10/20 第二チーム 10/14 ~ 10/20 第三チーム 10/15 ~ 10/20	医 師 1名 援助隊 9名 災害調査 1名 調整員 4名 計 15名	医薬品、医療機器、テン ト、簡易ベッド、削岩機 エンジンカッター	24,722

グレナダ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	14,182	7	4,514	2	8,389	4	5,545	2	1,271	1	1,110	1	16,978	5	51,989	22
専門家									5,376	2	31,087		36,847		73,310	2
調査団					1,063		25,359	7	2,284						28,706	7
協力隊																
機材供与	27,297										5,476		1,704		34,477	
その他																
合計	41,479	7	4,514	2	9,452	4	30,904	9	8,931	3	37,673	1	55,529	5	188,482	31

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 累計 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信・ 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業・ 貿易	観 光	人 的 資 源				
研修員	22				1	1		5		2	5		1			1		5	1		51,989
専門家	2										2										73,310
調査団	7										7										28,706
協力隊																					
機材供与																					34,477
その他																					
合計	31				1	1		5		2	14		1			1		5	1		188,482

2. 事業別実績
 [一般の技術協力]
 研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
52年度	1															1						1,242
53 "	2							2														1,873
54 "																						
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "	1										1											2,046
59 "	2										1	1										5,513
60 "	1							1														3,508
61 "	2							1											1			4,514
62 "	4					1							1	1						1		8,389
63 "	2				1															1		5,545
元 "	1																			1		1,271
2 "	1							1														1,110
3 "	5											3								2		16,978
合計	22				1	1		5		2	5		1			1			5	1		51,989

グレナダ

専門家派遣事業

グ レ ナ ダ	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業		工 業	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源				
	元年度	2									2											5,376
	2 "																					36,563
	3 "																					38,551
	合 計	2									2											80,490

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	消防訓練用機材 (小型消防車)	グレナダ外務省	53	12,609
2	消防車部品	"	59	1,365
3	スクールバス用機材	労働省	60	13,323
計	3 件			27,297

グレナダ

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	中米カリブ経済技術協力調査 (プロジェクト選定確認)	最近の中米情勢の推移、並びに昭和62年9月、倉成外相 (当時) が中米カリブ諸国歴訪の際、同地域との対話を通じ、同地域に対するわが国経済協力の効果的実施を促進するため、経済協力調査団を派遣する旨表明したこと等を踏まえ、各国政府及び国際機関との対話を通じて、今後のわが国の協力の方向を探るとともに、わが国援助スキームを説明、周知せしめ、優良案件の発掘を行うことを目的とした調査を実施した。	62	評価調査	63. 4. 6~63. 4. 25	(7)	1,063

〔援助効率促進事業〕

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	終了時評価調査		元	評価調査			948

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金 額 (億円)	調査 年度	調査種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経 費 実 績 (千円)
1	沿岸漁業開発計画	漁民の社会・経済レベルの改善のための所得の向上、国民の蛋白質の確保等を目的に、漁業生産量の増加のための漁業資機材、水揚	元. 7. 21	2. 16	63	基本設計 (本)	63. 12. 11~元. 1. 4	7	25,359
			2. 7. 11	4. 61					

グ
レ
ナ
グ

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		げ・荷捌き施設の整備を行う。							

グアテマラ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員		293,774	178	37,819	22	43,646	31	71,521	33	74,542	43	88,195	36	80,728	39	690,225	382
専 門 家		1,429,362	137	84,309	7	74,846	(1) 12	134,245	6	125,256	6	122,255	7	118,215	9	2,088,488	(1) 184
調 査 団		1,443,812	239	86,755	17	342,037	56	85,644	16	165,741	42	492,053	74	235,671	65	2,851,713	509
協 力 隊								16,218	5	57,163	12	111,696	(1) 7	164,257	19	349,334	(1) 43
機 材 供 与		352,062		5,989		36,474		100,460		41,186		40,506		47,716		624,393	
そ の 他		65,813		4,614		14,171		2,546				315				87,459	
合 計		3,584,823	554	219,486	46	511,174	(1) 99	410,634	60	463,888	103	855,020	(1) 124	646,587	132	6,691,612	(2) 1,118

グアテマラ

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ !	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	382	3	21	8	53	12	106	20	7	12	8	22	18	18	8		11		52	1	2	690,225
専 門 家	(1) 184	(1) 5		5	5	2	19	2			2	5		5			7		127			2,088,488
調 査 団	509	5	7	75	152	47		51		5	3	70	17	24					48		5	2,851,713
協 力 隊	(1) 43		2			3		5	4	1			4				17	4	(1) 3			349,334
機 材 供 与																						624,393
そ の 他																						87,459
合 計	(2) 1,118	(1) 13	30	88	210	64	125	78	11	18	13	97	39	47	8		35	4	(1) 230	1	7	6,691,612

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 グ ア テ マ ラ	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
		年度																				
35年度	1					1																} 2,201
36 "																						
37 "	1					1																
38 "	2						1	1														
39 "	1							1														339
40 "																						
41 "																						
42 "	1							1														898
43 "	2							1						1								1,467
44 "	3						1	1						1								1,653
45 "	7						2	3				1			1							5,400
46 "	3				1		1					1										2,596
47 "	3						1	1													1	3,982
48 "	8				4		1					1		1	1							10,136
49 "	9				2		4	1											1		1	12,581
50 "	9				1		7							1								12,658
51 "	13				7		3								1					2		19,692
52 "	18				5		6					2								5		28,962
53 "	9						3					2		2						2		16,919
54 "	14		1	1			5					2		1	1					3		24,500
55 "	13		1		1		5						1		1					4		26,313
56 "	12		1		1		7													3		25,552

グラフマラ

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
57年度	12				1		8										1		2			27,003
58 "	12					3	4						3						2			20,765
59 "	11		1	1	1	3	4												1			23,074
60 "	14				2	2	5		1										4			27,083
61 "	22	1	1		2		7	1	1	1		3					1		4			37,819
62 "	31		3		2		7	4	3	1		2	1	1	1		2		3	1		43,646
63 "	33		3	1	3		5	2		3	2	3	3	3			2		3			71,521
元 "	43	1	3	1	4		7	2	2	3	4	3	4	3			2		4			74,542
2 "	36	1	2	2	6	1	6			2	1	1	4	2	1		2		5			88,195
3 "	33		5	2	10	1	6	1		2	1	1	2	2			1		4			80,207
合計	381	3	21	8	53	12	106	20	7	12	8	22	18	18	7		11		52	1	2	689,704

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
47年度	1										1											5,939
48 "	2						2															12,750
49 "																						27,729
50 "	5				5																	34,307

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
51年度	3					2	1															43,313
52 "	4			2			2															30,319
53 "	3						1						1				1					44,764
54 "	3													3								65,263
55 "	1						1															69,028
56 "																						46,475
57 "	1						1															49,549
58 "	3						1						2									23,297
59 "	1						1															80,340
60 "	2						2															88,893
61 "	(1)A	(1)		3							1											74,808
62 "	6						4	1					1									68,356
63 "	1																1					94,323
元 "	4						2							2								90,353
2 "	4							1									3					99,523
3 "	2						1						1									89,678
合計	(1)50	(1)		5	5	2	19	2			2	5		5			5					1,139,007

(注) カッコは国際機関専門家以外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
61年度																						816
62 "																						1,930
63 "	5		1			1		1	1									1				17,457
元 "	12								1				1				8	1	1			63,986
2 "	(1) 7							2					2				2		(1) 1			122,279
3 "	19		1			2		2	2	1			1				7	2	1			173,031
合計	(1) 43		2			3		5	4	1			4				17	4	(1) 3			379,499

(注) カッコは国際協力隊で外数である。

グアテマラ

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

グ ア テ マ ラ	No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機材供与経費
					(千円)
	1	水産機材	農業省PESCA社	48	3,271
	2	電話訓練機材	電信電話公社(GUATEL)	52	26,628
	3	医療関係機材	国立総合病院	54	4,087
	4	職業訓練用視聴覚機材	職業訓練校	59	6,352
	5	障害修理用機材	グアテマラ電気通信公社	61	1,955
	6	障害修理用機材	グアテマラ電気通信公社	62	20,669
	7	医療用機材	国立ルーズベルト病院	62	5,100
	8	農業用建設機材	農業総局	63	51,437
	9	医療用機材	国立ルーズベルト病院	63	4,982
	10	野菜育種圃場用機材	農牧・食糧省農業科学研究所	2	11,608
	11	病害虫駆除研究用機材	農牧・食糧省農業科学技術研究所	3	7,787
	12	鉱物分析用機材	エネルギー・鉱山省鉱山総局	3	23,690
	13	生活改善指導用機材	開発省ラビナル・サン・ミケル出張所	3	4,521
	計	13 件			172,087

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
オンコセルカ症研究対 策 Onchocerciasis Research and its Control 協定等の種類：R/D	グアテマラは、同国におけるオンコセルカ症の撲滅に関し、昭和48年わが国に医療協力を要請してきた。 昭和48年末に専門家派遣による予備調査、昭和50年3月の事前調査団の派遣を経て同年7月に派遣された実施調査団に	48					⊗ 1	⊗ 1,496			⊗ 1,496	
		49	事前調査	50.3.6~ 50.3.26	4	4,171						4,171
		50				250						10,571
		"	実施調査	50.6.28~ 50.7.24	4	4,451				万能顕微鏡	5,870	
		51					12	70,720	凍結乾燥機	21,319	92,039	

プロジェクト名	概要	年 度	調査団			専門家			機材供与		経費総額 (千円)		
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)	
							継続	新規					
署名年月日：50.7.21 協力期間： (当初) 50.10.1～55.9.30 (延長) 55.10.1～58.9.30 相手国機関： グアテマラ保健省 国内協力機関： 国立予防衛生研究所	よりグアテマラ政府保健省との間にR/D (期間5年間) が取り交わされた。 これによりわが国は、グアテマラ国内でオンコセルカ症研究対策のための医療協力を、次の3点を重点項目として実施することとなった。 ① オンコセルカ症対策 (媒介虫対策および化学療法を含む) のための基礎調査。 ② San Vicente Pacayaパイロット地区(300km)での媒介虫対策を重点とするオンコセルカ症対策の実施。 ③ グアテマラ全土で採用し得る、効果的なオンコセルカ症媒介虫対策の確立。 なお、協力期間の前半では準備段階として媒介虫であるブユの生態研究、試験地域の設定、散布計画の立案作成、後半は薬剤散布の実施と効果測定に重点をおいて協力を実施し、昭和54年2月には、協力期間前半の終了に伴い、効果測定のため、5名からなるエバリュエーション調査団を派遣した。	52	計画打合	52.6.23～ 52.7.10	3	3,175	7	14	94,251	肺機能測定装置顕微鏡、ランドクルーザー	3,751 56,217	157,394	
		53	エバリュエーション	54.2.11～ 54.2.25	5	4,436	8	13	101,756	万能顕微鏡、低温解凍器	3,088 28,400	137,680	
		54				398		9	95,529	脳波計、超低温冷凍庫	1,450 16,529	113,906	
		55	エバリュエーション	55.5.15～ 55.5.30	3	670 2,969	8	28	112,141		7,832 16,360	139,972	
		56				176	8	10	112,090		14,569 16,979	143,814	
		57	機材修理	58.4.7～ 58.4.21	3	208 2,735	11	11	152,806		11,606 18,547	185,902	
		58	エバリュエーション	58.7.8 58.7.21	5	123 7,457	11	4	82,388		4,562	110,197	
		"				5,751					9,916		
		59	〔同上〕 報告書作成			282						282	
		62	アフターケア							857			857
		"	事後調査	62.11.15～ 62.12.7	(5)	2,620							2,620
		63	アフターケア			517		4	4,264	車輛、顕微鏡、コンピューター	32,194	36,975	
		元	"					2	44,525		1,582	46,107	

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)											
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)												
	(カウンターパート受入実績) <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>51~54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table>	年度	51~54	55	56	57	58	人数	8	1	1	2	1									
年度	51~54	55	56	57	58																	
人数	8	1	1	2	1																	
マラリア研究対策	グアテマラにおけるマラリアによる死亡率はきわめて高く、これの対策研究は緊急かつきわめて重要な課題となっていることから、わが国に技術協力を要請してきた。	60	事前調査	61.2.24 ~ 61.3.7	5	5,228					5,228											
		61					138		478		616											
		62					47		674	151	872											
熱帯病研究プロジェクト (Project of Research for Control of Tropical Diseases) R/D署名日: 3.9.4 協力期間:(R/D) 3.10.1~8.9.30 所在地:グアテマラ市 先方関係機関: 厚生省マラリア局, サン・カルロス大学 我が方協力機関: 熊本大学医学部, 長崎大学熱帯医学研究	(要請の背景) グアテマラでは、その地理的、気候的、動植物生態学的等の風土条件により、マラリアを始めとし、シャガス病、オンコセルカ症等の伝播昆虫媒介性疾病が社会・経済発展を阻害するものとして、同国の保健医療政策上で緊急に対処すべき課題に位置付けられている。しかしながら、これら熱帯病に対する同国の対策は、その研究基盤整備(施設、機材、人材)の立ち遅れにより、効果的な対策が取られていないのが現状である。我が国は同国に対しこれまでに、オンコセルカ症研究プロジェクト(昭和50年~昭和58年)マラリア対策ミニプロジェクト(昭和62年~平成2年)を通じ、熱帯病対策分野で	63						1,195			1,195											
		元	事前調査	元.9.4~元.9.18	5	4,620	2	143			4,763											
		2				802	3	2,935			} 8,591											
		2	事前調査	3.3.18~3.3.29	6	4,854																
3	実施協議	3.8.28~3.9.8	5	12,254	13	29,517		3,128	44,899													

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
所、宮崎医科大学、 産業医科大学	<p>の技術協力を進めてきており、これら我が国の協力に対しては、グアテマラ官民の高い評価を得てきている。</p> <p>これまでの我が国からの継続した協力を基に、同国政府は上記熱帯病の基盤的、包括的技術の獲得及びその成果を以て同国民の保健衛生分野の改善を図ることを目的として、我が国に対し熱帯病研究に関するプロジェクト方式技術協力を要請した。</p> <p>(目的)</p> <p>伝播昆虫媒介性疾病を中心とした熱帯病に関し、以下の4分野において基盤的、包括的研究技術の向上を図り、その成果を同国の保健衛生分野の改善に生かすことを目的とする。</p> <p>1) 病原体の同定と診断 2) 治療法研究および臨床的研究 3) 伝播昆虫の生物学と防圧研究 4) 疫学と人間生態学</p> <p>(現状・目標達成)</p> <p>フィールドを選定し、フィールド調査体制を整備中。</p>											

グアテマラ

保健医療協力事業（単発専門家）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)		
							継続	新規					
昆虫学		58				Ⓞ 70		1	4,710		Ⓞ 1,871	6,651	
		59				Ⓞ 27	1	1	8,323		Ⓞ 435	8,785	
寄生虫学		59				Ⓞ 13		1	4,160		Ⓞ 218	4,391	
昆虫学, 寄生虫学ス ーバイズ		59				Ⓞ 13		1	4,160		Ⓞ 218	4,391	
微生物学		61				(138)		(3)	(10,689)		(2,368)	(13,195)	
マラリア対策		61				(138)		(3)	(10,689)		(2,368)	(13,195)	
		62						6	12,920		2,566	15,486	
		63						3	1	40,486		3,334	43,820
		2					89	3		26,600		215	26,904
感染症		63				26			1,767			1,793	

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
							継続	新規				
消化器内科学		58						2	1,822		Ⓞ 1,328	3,150

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)		
							継続	新規					
サンカルロス大学		55									10,651	10,651	
感染症		元									車輛、ソーラ ーシステム冷 蔵庫	25,831	25,831

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
		2							輸送費, 車輛	10, 140	10, 140	

(開発調査方式技術協力)

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	開発調査プロジェクト 選定確認調査	① (グアテマラ、ペルー) 中南米一般を参照のこと。	47	事前調査	47. 12. 1~47. 12. 26	(6)	(2, 264)
2	港湾建設計画調査	グアテマラ国の太平洋岸には現在サンホセ港とチャンペリコ港の2港があるが、けい留施設として砂浜の天然海岸から沖に向かって鉄杭棧橋が1本あるのみで本船の接岸は不可能であり、荷役は沖合に停泊した本船と舳を使って極めて非能率かつ危険な状況にある。また、輸出入貨物は、ほとんど近隣諸国の港を通して取り扱われているため、きわめて割高なものとなり、国民経済上大きな負担となっている。このため同国政府は外航大型船の港湾建設調査をわが国に要請した。これを受けて昭和48年度の予備調査を実施。49年度においてはフィージビリティ調査を実施した。	48	事前調査	48. 9. 17~48. 10. 8	5	5, 150
			49	実施調査	49. 4. 16~49. 5. 15	15	15, 376
			"	報告書説明	49. 9. 25~49. 10. 8	4	11, 743
3	治水計画	グアテマラ南部太平洋岸のバンタレオン・アチグアテ河を中心とする治水計画調査を実施するもので、昭和57年度は11月にコンタクト・ミッションを派遣し、治水計画調査の内容、方法等の調査を行い、昭和58年2月に事前調査団を派遣し、S/Wの締結を行った。 昭和58年度は、水系全体の長期治水計画を策定し、中間報告書を作成した。 昭和59年度は、水系全体の長期治水計画及び緊急計画につき、最終報告書を作成、送付した。	57	事前調査	57. 10. 31~57. 11. 14	4	11, 591
			"	"	58. 4. 4~58. 4. 18	6	
			58	実施調査	58. 8. 2~59. 3. 13	20	142, 402
			"		(調査業務実施)		1, 563
4	グアテマラ市地下水開発計画調査	グアテマラ市の生活用水確保のため、同市長期水供給計画により「緊急計画I」として指定された市中央部等84kmを含むグアテマラ峡谷(800km)における地下水開発計画のF/Sを行うものである。	59	事前調査	59. 12. 2~59. 12. 16	4	5, 332
			60	実施調査	60. 7. 12~60. 12. 17	12	236, 495
			"		61. 1. 16~61. 3. 15	4	

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		昭和59年度は、12月にS/Wを締結した。 昭和60年度は本格調査を行い、インテリムレポートとして取りまとめた。 昭和61年度はF/Sを昭和60年度に引き続いて行った。	61	実施調査	61. 6. 21～61. 8. 19	5	71,059
5	サント・トーマス港近代化計画	同国最大の規模を有するサント・トーマス港の航路・泊地・拡張及び岸壁延長等を含む近代化計画にかかるF/Sを実施するものであり、昭和61年度は事前調査を実施した。 昭和62年度は、現地本格調査を実施し、インセプションレポート、中間報告書、最終報告書案の説明、協議を行った。 昭和63年度は昭和62年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書を提出した。	61	事前調査	61. 11. 30～61. 12. 13	6	7,595
			62	実施調査	62. 11. 17～63. 3. 26	12	145,202
			"	"	62. 6. 1～62. 8. 20	12	
			63	"	(業務実施契約)		11,202
6	モンハスカんがい計画	グアテマラ南東部のハラバ県に属するモンハス地区において、同地区の7,200haを対象に、国内向け食糧増産を目的として、既存農地を含めた農地整備、乾期の水資源確保、合理的水配分方策及び新規換金作物の導入等にかかる農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は、事前調査を実施し、要請内容の確認、関連資料の収集、本格調査のためのS/Wを締結した。 昭和62年度は、本格調査を実施し、最終報告書案を作成、提出した。	61	事前調査	62. 2. 9～62. 2. 21	6	5,767
			62	実施調査	62. 8. 1～63. 3. 25	30	191,175
			63	"	(業務実施契約)		5,966
7	中米カリブ経済技術協力調査(プロジェクト選定確認)	最近の中米情勢の推移、並びに昭和62年9月、倉成外相(当時)が中米カリブ諸国歴訪の際、同地域との対話を通じ、同地域に対するわが国経済協力の効果的実施を促進するため、経済協力調査団を派遣する旨表明したこと等を踏まえ、各国政府及び国際機関との対話を通じて、今後のわが国の協力の方向を探るとともに、わが国援助スキームを説明、周知せしめ、優良案件の発掘を行うことを目的とした調査を実施した。	62	評価調査	63. 4. 6～63. 4. 25	(7)	1,063
8	国際空港整備計画	グアテマラのオーロラ、サンタエレナ両空港にかかる長期的整備計画のマスタープランの策定及び短中期計画にかかるフィージビリティ調査を行うもので、昭和63年度は事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、本格調査を開始し、進捗状況報告書を提出した。 平成元年度は中間報告書作成から最終報告書提出までを実施した。	63	事前調査	63. 8. 16～63. 8. 29	6	62,743
			"	実施調査	元. 1. 25～元. 3. 17	10	
			元	"	2. 1. 16～2. 1. 30	16	122,107

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
9	首都圏交通網整備計画	グアテマラ市を中心とする首都圏地域を対象としたマスタープラン(2010年为目标とする長期計画と平成2年までの短期計画)を策定するものであり、平成元年度は事前調査(実施細則締結)と調査計画作成のための国内作業を実施した。 平成2年度は元年度に締結した実施細則(S/W)に基づき、本格調査に着手し、中間報告書(Ⅱ)まで作成した。 平成3年度は、2年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書を相手国政府に提出した。	元	事前調査	元.11.7~元.11.21	7	16,040
			"	実施調査	(業務実施契約)		
			2	"	2.7.11~3.3.22	26	127,330
			3	"	3.6.1~3.12.23	19	
			"	"	3.12.10~3.12.20	2	
10	首都圏生活廃棄物処理計画	グアテマラ首都圏(人口約130万人)の生活廃棄物処理事業に関し、2000年为目标とする基本計画(M/P)を策定するとともに、短期優先計画についてはフィージビリティ調査(F/S)を実施するものである。 平成元年度は事前調査を実施し、実施細則を締結した。 平成2年度は元年度に締結した実施細則(S/W)に基づき、本格調査に着手し、中間報告書まで作成した。 平成3年度は、2年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書を相手国政府に提出した。	元	事前調査	元.10.24~元.11.7	5	7,949
			2	実施調査	2.6.14~3.3.5	36	233,015
			3	"	3.7.21~3.7.29	7	46,490
11	フティアバ県農牧業農村総合開発計画	グアテマラ東南部のフティアバ県約3,200km ² を対象として、灌漑その他農業基盤整備、食用作物・野菜・果樹、畜産等の生産の向上及び農民の所得の向上を目的とする農牧業・農村総合開発計画の策定に係るマスタープラン調査を実施するものであり、平成3年度は、平成3年11月に事前調査を実施し、実施細則(S/W)を締結した。さらに、平成4年2月に実施調査を開始し、同年4月にフェーズⅠ現地調査を終了した。	3	事前調査	3.11.18~3.12.1	6	27,592
			"	実施調査	4.3.9~4.4.22	9	

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	絨工業プロジェクト選定確認調査	① (ブラジル, エクアドル, グアテマラ, ペルー) 中南米一般を参照のこと。 ② (エクアドル, , グアテマラ, ペルー)	47	海	47.10.23~47.11.9	(2)	(422)
			48	海	48.11.18~48.12.3	(2)	(529)

グアテマラ

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		中南米一般を参照のこと。					
2	地熱発電開発計画調査	ケサルテナンゴ地区を中心とする地熱地帯概査。資料収集・分析、現況把握等各種調査。 昭和48年度は、第1次調査の結果にもとづき、第3次調査の円滑な実施を期するため、その前段として、物理探査のための測線の決定、発破孔の仕様および位置決定等の諸条件調査、測線沿いの縦断面図の作成、諸便宜供与の指示等を実施。 上記調査の結果、優勢な地熱徴候をもっていることが確認されたスニール地区について、昭和51年度は第3次として、地質調査、電気探査、地震探査等を実施し、地熱貯溜層を解明し、試錐位置を確定した。 昭和52年度はこれらについて報告書を作成し、現地説明を行った。	47	海	48. 2. 27~48. 3. 28	7	11,651
			48	海	49. 2. 11~49. 3. 12	3	14,074
			51	海	51. 11. 28~52. 1. 21	10	55,524
			52	海	52. 9. 3~52. 9. 13	1	7,353
3	製油所建設計画	グアテマラ国に産出する原油を利用する製油所および関連施設を建設するため、昭和58年7月に事前調査団を派遣しS/Wを締結するとともに11月に本格調査を行い、報告書作成のための国内解析作業を実施した。プロジェクトの概要は、原油処理能力4万バレル/日の製油所、原油受入れターミナル、パイプライン約200kmの建設の調査である。 昭和59年度は前年度実施した本格調査の結果を最終報告書(案)にとりまとめ、現地説明を行い、最終報告書を作成・送付した。	58	海(事前)	58. 7. 11~58. 7. 23	4	4,537
			58	海	58. 11. 12~58. 12. 4	9	36,912
			59	海(報告)	59. 6. 24~59. 7. 2	4	14,271
4	プロジェクト確認調査	(グアテマラ、コスタ・リカ)	3	海	3. 9. 16~ 3. 9. 28	(6)	2,661

資源開発協力基礎調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	西部地区資源開発協力基礎調査	グアテマラ国政府の要請にもとづき西部地区の鉱物資源の賦存の可能性を調査するもの。調査期間は、昭和51年度から3年間、調査対象地域は、同国西部地区の面積約2,000km ² で、昭和52年度から昭和53年度にかけて地質調査、物理探査、ボーリングを実施した。 ① 51年度の+(2)は金属鉱業事業団(MMA) 予算。	51	資	51. 7. 10~51. 12. 29	7+(2)+(3) MMAより2名 参加、現地参加3名	75,647
			52	資	52. 9. 7~53. 3. 21	17	170,061
			53	資	53. 6. 6~53. 10. 26	15	132,821

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
2	資源開発協力基礎調査 フォローアップ調査	(グアテマラ, メキシコ) 中南米一般を参照のこと。	54	資	54. 8. 1~54. 8. 15	(4)	(904)
3	東部地区資源開発協力 基礎調査	東部のチキムラ(Chiquimula), マタケスクイントラ(Mataquesuintla) 地区の面積約2,200km ² における鉱物資源賦存の可能性調査を行うもの。 昭和55年度は, 第1年次調査の結果に基づき抽出された地域の地質調査, ボーリングを行った。 昭和56年度は, 土壌または岩石サンプルによる地化学探査および地質調査(精査)を実施した。	54	資	54. 5. 25~54. 12. 13	21	84,160
			55	資	55. 8. 6~55. 12. 5		
			"	資	55. 8. 25~55. 8. 29	11	133,269
			"	資	55. 11. 11~55. 11. 20		
			56	資	56. 7. 8~56. 11. 16		
"	資	56. 10. 3~56. 10. 31					
57	資	(機材供与)		3,852			
4	チキムラ地区地域開発 計画調査	同国チキムラ県の南西に所在するロス・シリエントス地区とベントナイト鉱床を中心とする鉱山開発に必要なインフラストラクチャー整備計画策定と, それに関連する経済効果を分析検討するものである。 昭和56年度は, 現地調査および収集した資料に基づき国内解析作業を行い, 報告書の作成を行った。	56	資	56. 10. 3~56. 11. 1	6	39,584
5	事前調査折衝	(アルゼンティン, チリ, フィリピン, 中国, グアテマラ) 世界一般を参照のこと。	56	資	56. 6. 12~56. 6. 25	(7)	(821)
			"	資	56. 5. 30~56. 6. 11		
			"	資	57. 2. 15~57. 2. 19		
			"	資	56. 12. 15~56. 12. 19		
			"	資	56. 6. 3~56. 6. 9		
			"	資	56. 8. 11~56. 8. 22		
"	資	56. 7. 12~56. 7. 22					

〔援助効率促進事業〕

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト形成調査	人造りセンター1 (コスタ・リカ, グアテマラ, エル・サルヴァドル) (ニカラグア, ホンデュラス)	63	プロジェクト 形成調査	63. 11. 21~63. 12. 16	(7)	2,135

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
2	プロジェクト形成調査	人造りセンターⅡ(コスタ・リカ, グアテマラ)	63	プロジェクト形成調査	元. 4. 9~元. 4. 21	(5)	1,816
3	プロジェクト形成調査	輸出振興地域プロジェクト	元	プロジェクト形成調査	元. 8. 28~元. 10. 29	2	3,218
4	水資源開発分野	(ペルー, グアテマラ)	元	構造的評価調査	元. 11. 20~元. 12. 8	(5)	7,314
5	プロジェクト形成調査	水産分野	2	プロジェクト形成調査	2. 4. 8~2. 4. 20	3	4,859
6	プロジェクト確認調査	年次協議(D)	3	プロジェクト確認調査	3. 6. 22~3. 6. 29	3	1,528

〔無償資金協力〕

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額(億円)	調査年度	調査種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	地方水道施設復興整備計画	1976年2月の大地震により破壊された水道施設の修復を含め地方町村の水道施設の整備。	54. 1. 15	4	54	実施促進	54. 6. 23~54. 7. 2	(1)	(333)
					"	"	54. 12. 5~54. 12. 26	(3)	(1,397)
					"	"	55. 4. 9~55. 4. 21	(2)	(778)
2	地方橋梁建設計画	ウエウエテナンゴ, サカバ, ハラバの3県において, H鋼による4仮設橋の架け替えを行う計画。 本計画を実施するために必要な橋梁及び附属施設の建設に必要な生産物及び役務の供与, 生産物の輸送に必要な役務の供与。これに必要な資金の供与。 平成2年度は, 報告書説明調査団を派遣するとともに, 最終報告書を送付した。	2. 11. 23	4. 96	元	基本設計(本)	2. 3. 31~2. 5. 10	7	1,391
			3. 7. 26	2. 96	2	"(報)	2. 7. 25~2. 8. 5	5	38,269
3	ペテン県道路網保守・補修用機材整備計画	グアテマラの3分の1の面積を占め, 総延長1,431kmの道路を有しているペテン県の道路	2. 4. 4	4. 93	2	実施促進	2. 4. 21~2. 4. 29	3	3,018

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		網の保守業務は、他県と異なりペテン県経済振興開発公社が実施してきたが、今般他県と同様通信・運輸・公共事業省道路総局がペテン県も担当することとなった。道路総局及び公社が保有する機材数がペテン県をカバーするには十分でなくかつ老朽化していることから必要な機材を調達する計画。							
4	零細漁業振興計画	グアテマラでは、動物性たんぱく質供給源として、漁業資源を上げ漁業の振興と水産物の流通改善に力を注いでいるが、経済状況の悪化により必要な設備、資機材の調達に支障をきたしている。この為同国政府は「零細漁業振興計画」を策定。	3. 2. 4	1.98					
5	首都圏生活廃棄物処理機材整備計画	グアテマラ市へ生活廃棄物処理機材を供与することによって、現在同市が抱えている衛生問題への対策として、2000年を目途に衛生環境を改善する。これに必要な資金の供与。	4. 5. 15	3.09	3	基本設計(本)	4. 1. 16～ 4. 1. 25	4	985
6	地方小水力発電所復旧計画	地方地域の住民に対する電力供給を図り、地方電化による農村地域の発展を推進する。これに必要な資金の供与。	4. 1. 10	4.10	3	基本設計(事)	3. 6. 17～ 3. 7. 1	3	6,880
7	自治消防団機材整備計画	同国自治消防団において、消防車輛・救急車輛・救助機材を整備する。			3	基本設計(本)	4. 3. 2～ 4. 3. 23	7	1,766

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

グ ア テ マ ラ	No.	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	1	林業開発協力	<p>グアテマラは、国土の65%が森林であり、熱帯広葉樹およびマツ類資源が豊富に賦存しているものの、それが十分に活用されず、製材業等木材加工業はあまり発達していない。このため、グアテマラ政府は、木材加工業の振興・近代化を図ることとし、わが国に経済・技術協力を要請してきた。</p> <p>本調査は、グアテマラの森林資源の賦存状況、林産業の現状、木材流通の実態等を調査し、民間協力の可能性を明確にすることを目的とするものである。</p> <p>昭和53年度は基礎一次調査団を派遣し、林業振興計画、経済、社会開発計画等を調査するとともに森林資源の賦存および利用の現況、木材加工業をとりまく情勢および投資環境等について調査を行った。</p>	53	基礎一次調査	53.10.3~53.10.25	5	5,156
				54		(同上報告書作成)		1,280

ガイアナ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員		75,362	34	6,708	2	6,132	3	9,903	5	8,095	3			14,490	5	120,690	52
専 門 家		1,649	2					1,587	1	8,167	1	7,969				19,372	4
調 査 団		54,376	20	3,534		9,796	5	93,205	15	24,639				4,480	5	190,030	45
協 力 隊																	
機 材 供 与								1,712		6,631						8,343	
そ の 他		2,972				1,042										4,014	
合 計		134,359	56	10,242	2	16,970	8	106,407	21	47,532	4	7,969		18,970	10	342,449	101

ガイアナ

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員	52		1			1	9	12			8		8	8	2			2	1			120,690	
専 門 家	4									2		1				1						19,372	
調 査 団	45							3		22				20								190,030	
協 力 隊																							
機 材 供 与																						8,343	
そ の 他																						4,014	
合 計	101		1			1	9	15		32		9	28	2		1		2	1			342,449	

2. 事業実施種

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 ガイアナ	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				飲 工 業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	飲 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
45年度	1										1												724
46 "																							
47 "																							
48 "																							
49 "	3										1			2									3,836
50 "																							1,817
51 "	5							4							1								4,337
52 "	5						2	1			1		1										10,269
53 "																							
54 "	4						2	1						1									6,929
55 "	3						1	1					1										8,473
56 "	3						2						1										7,960
57 "	2												1	1									6,890
58 "	1													1									1,673
59 "	3							1			2												8,527
60 "	4						1	2			1												13,927
61 "	2										1		1										6,708
62 "	3											1	1								1		6,132
63 "	5					1		1						2					1				9,903
元 "	3		1				1							1									8,095
2 "																							
3 "	5							1			1		1		1				1				14,490

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
合計	52		1			1	9	12			8		8	8	2				2	1		120,690

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
52年度	2										2											1,649
53 "																						
54 "																						
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "																						
59 "																						
60 "																						
61 "																						
62 "																						
63 "	1																	1				3,299
元 "	1												1									14,798
2 "																						7,969

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
合計	4								2			1					1					27,715

ガイアナ

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	漁業基地建設計画調査	本計画は、ガイアナ国の未開発のまま放置されている同国沖合の漁業資源を開発し、自国民は勿論、同国がその一員となっているカリブ自由貿易連合の食糧基地の役割を果たすための漁業基地を建設するに当り、その施設の一部をわが国に援助方要請してきたものである。当事業団は、わが国の援助に応えるに当り、その計画内容の実現可否と援助実施についてフィージビリティ調査を行った。	49	特	50. 1. 10～50. 1. 31	4	3,975
			50	特			
2	デメララ漁港整備計画 基本設計調査	同国政府は国内の漁業振興のため、ジョージタウンのデメララ漁港の建設計画を立案し、わが国に対し無償資金協力を要請してきた。これに応じて、わが国は昭和50年と53年に2回の無償資金協力を行ったが、更に第3次建設計画に対する無償資金協力の要請があったので昭和55年8月に調査団を派遣し、協力の意義・効果を確認するとともに、第3次建設計画の果たす役割と必要施設規模について同国政府関係機関と協議、必要な現地調査を行うと共に第3次建設計画の基本設計を作成した。	55	特	55. 8. 7～55. 8. 28	6	16,205
3	ディーゼル発電機整備計画	恒常的停電および遠隔地での電圧低下の解消を図るため発電機3台の供与にかかわる基本設計調査を実施した。	58	特	58. 9. 4～58. 9. 22	3	10,801
4	第四次デメララ漁港計画	沿岸漁業振興のため製氷、貯水施設等の建設及び機材の整備にかかわる基本設計調査を実施した。	59	特	59. 8. 14～59. 9. 3	6	17,845

ガイアナ

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業プロジェクト選 定確認調査	(メキシコ、ガイアナ)	61	海	62. 2. 15～62. 2. 27	(6)	3,534
			62	"			
2	沿岸地域電力開発計画	平成元年から10年までの電力需要予測を行い、これに対応すべく、同国の主要電力需要地である沿岸地域を対象としてディーゼル発電を中心とした既存の電力供給システムの改善を含む電力開発計画を策定するものである。 昭和62年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結した。 昭和63年度は、3次にわたり現地調査団を派遣し、既存電力設備の調査・地点踏査等を実施し、その結果を最終報告書案に取りまとめた。	62	海(事)	63. 2. 29～63. 3. 14	5	9,713
			63	海	63. 7. 11～63. 9. 26	7	92,261
			"	"	元. 1. 19～元. 3. 29	5	
			元	"			3,464

[無償資金協力]

ガイアナ

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	漁業開発計画	ガイアナ漁業開発計画の一環である棧橋等の建設。	53. 9. 22	4	54	実施促進	55. 4. 9~55. 4. 21	(2)	(778)
2	漁業振興計画	トロール船の増加に伴う棧橋のバースの増 加と漁船修理のための作業所及び付随機材の 供与。	56. 1. 28	6	55	基本設計	55. 8. 7~55. 8. 28	6	開発調査
			60. 10. 4	4. 61	"	実施促進	56. 1. 16~56. 2. 2	(2)	(787)
			62. 10. 28	2. 63	56	"	57. 3. 23~57. 3. 30	1	7, 173
					57	"			7
				58	"	59. 3. 12~59. 3. 26	(2)	(1, 460)	
3	ヴェルサイユ発電所整備計 画	深刻な電力供給不足をきたしている首都圏 北西部西デメララ地域のヴェルサイユ発電所 内にディーゼル発電機の整備。	59. 6. 4	6. 28	58	基本設計	58. 9. 4~58. 9. 22	3	開発調査
4	デメララ漁港計画	食糧確保の観点から、水産業の振興を計る ため、デメララ漁港の整備。	60. 3. 22	4. 90	59	基本設計	59. 8. 14~59. 9. 3	6	開発調査
5	漁業振興計画	沿岸漁業振興のため、トロール漁船、漁具 の供与、水産物冷凍・冷蔵施設及び加工施設 の建設。	60. 10. 4	4. 61					
6	精米設備更新計画	ガイアナMARDS精米所の精米施設は老 朽化のため能力が半以下に低下し、漸次振 興してきた米作に対応が困難な状況となった ため、設備を更新する。	2. 7. 27	8. 33	63	基本設計(本)	元. 1. 22~元. 2. 8	3	944
					元	基本設計			12, 199
7	ガーデン・オブ・エデン発 電所整備計画	ガイアナの電力供給は政府によって設立さ れたガイアナ電力公社が中心に行っている が、同公社の電力供給能力は発電設備の老朽 化及び電力需要の増大により極度の不足状態 に陥っており連日計画的な供給遮断を余儀な くされている。このような状況を改善するた め老朽発電設備のリハビリテーションを促進	元. 9. 15	7. 15	元	基本設計	(国内作業)		8, 976

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		するとともに新規電源を開発していく必要があり、同国政府はガーデン・オブ・エデン発電所の発電機更新計画を策定。							
8	沿岸小規模漁港建設計画	マハイカ地区に小規模漁港を建設することにより、漁獲物の効率的な水揚げと鮮度保持の改善を達成し収穫後ロスの低減と良質な水産物供給を図る。			3	基本設計(事)	4. 3. 15～ 4. 4. 1	5	4,480

ハイティ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ハイティ 経費 及び 形態	年度		27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員	23,851	15	10,848	4	16,510	6	14,176	6	12,966	8	29,840	10	11,516	4	119,707	53		
専 門 家	2,095	2													2,095	2		
調 査 団	76,819	35	5,924	4	5,023	2	6,811	3	10,134	3	18,424	9	69,640	8	192,775	64		
協 力 隊																		
機 材 供 与	1,225				720		5,236		87						7,268			
そ の 他	5,399		662		417										6,478			
合 計	109,389	52	17,434	8	22,670	8	26,223	9	23,187	11	48,264	19	81,156	12	328,323	119		

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ン ー ル ギ		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員	53	2	2		3	4	5	7		2	4		3		6				13	2		119,707	
専 門 家	2																				2		2,095
調 査 団	64				5			26											26		7		192,775
協 力 隊																							
機 材 供 与																							7,268
そ の 他																							6,478
合 計	119	2	2		8	4	5	33		2	4		3		6				39	4	7		328,323

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
37年度	1						1															
38 "	1							1														
39 "	1							1														
40 "																						
41 "	1							1														573
42 "																						
43 "																						
44 "																						
45 "																						
46 "	1															1						697
47 "																						
48 "	1															1						953
49 "																						
50 "																						
51 "																						
52 "																						
53 "																						
54 "																						
55 "	2																			2		4,185
56 "																						
57 "	2																			2		3,190
58 "	1												1									1,826

ハイテイ

ハイテイ

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
59年度	2								2													5,171
60 "	2							1											1			7,256
61 "	4	1					1	1							1							10,848
62 "	6				1		1												4			16,510
63 "	6					1	1					1			1				1	1		14,176
元 "	8					1		1				2							3	1		12,966
2 "	10	1	2		1	1	1	1		2					1							29,840
3 "	4				1	1									1							11,516
合計	53	2	2		3	4	5	7		2	4		3		6				13	2		119,707

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
56年度																						173
合計																						173

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（単発専門家）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
医療材料整備		54					1	749			749	
マラリア撲滅計画		56					1	1,173	⑤	1,225	2,398	

ハイティ

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	結核検診センターおよびシグノ・サナトリウム建設計画調査	結核撲滅のための検診センターおよびシグノ・サナトリウム建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56. 6. 6～56. 6. 26	7	} 27,359
			"	特	56. 9. 12～56. 9. 21	5	
2	経済技術協力調査	中南米一般を参照のこと。 (ハイティ, ホンデュラス, ペルー, ボリヴィア)	58	事前調査	59. 2. 19～59. 3. 5	(5)	(1,189)
3	医療機材整備計画	首都をはじめ8都市にある10病院におけるサービス向上のための医療機材の整備 に関し, 基本設計調査を実施した。	59	特	59. 7. 7～59. 7. 26	(5)	(9,468)

〔援助効率促進事業〕

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	食糧増産援助	(ボリヴィア, ハイティ)	元	横断的評価調査	元. 12. 4～元. 12. 23	(5)	6,787

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	マラリア撲滅計画 (I)(II)(III)	マラリア撲滅に必要な資機材の供与	54.11.7	3	54	基本設計(事)	54.7.16~54.7.29	2	} 1,126
			57.4.21	4.50	54	実施促進	54.7.16~54.7.29	2	
			59.12.26	3.50	55	"	56.1.16~56.2.2	(2)	(787)
			61.8.26	3	58	フォローアップ	59.2.28~59.3.10	2	1,874
			62.8.18	4	59	実施促進	60.1.14~60.1.19	1	462
			元.12.14	3.83	63	フォローアップ	63.8.25~63.8.28	(2)	1,137
					元	実施促進	2.3.3~2.3.13	(1)	(669)
					2	"	2.4.30~2.5.8	(1)	(2,729)
		"	"			(1,183)			
2	結核撲滅計画	結核撲滅のため結核コントロールセンター とシグノ・サナトリウムの建設及び機材の供 与	56.10.14	6	56	基本設計	56.6.6~56.6.26	7	} 開発調査
					"	" (報)	56.9.12~56.9.21	5	
					"	実施促進	56.12.5~56.12.13	2	1,359
					57	"	57.11.8~57.11.20	(1)	(520)
3	道路建設計画	地方道路整備延長計画の実施に必要な道路 建設用機材の供与	59.4.9	5	59	実施促進	59.5.23~59.5.31	1	833
			62.4.13	3	"	"	59.10.22~59.10.31	2	1,718
			63.4.21	3	62	"	62.4.25~62.5.1	1	} 3,085
					"	"	62.8.31~62.9.7	1	
					63	"	63.8.1~63.8.7	(1)	} 347
					"	"	63.10.26~63.11.12	(1)	
		"	"						
4	医療機材整備計画	ハイティ国立大学病院 イザイエ・ジャン ティ産院 結核シグノ・サナトリウムの医療 機材の整備	59.12.26	2.20	59	基本設計	59.7.7~59.7.26	(5)	開発調査
5	食糧増産援助	食糧増産を図るため、農薬・肥料等の供 与。政変の為中断。治安の回復を待って実施 促進調査の予定。	60.12.27	5	61	実施促進	61.6.1~61.6.11	4	} 5,924
			62.1.14	5	"	"	61.10.19~61.11.1	3	
			63.4.21	4	"	"	62.2.11~62.2.24	(4)	

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)	
			元. 4. 19	4	62				1,938	
			元. 12. 14	2. 50	63	実施促進	63. 8. 1~63. 8. 7	(1)	} 4,069	
			3. 7. 18	4	"	"	63. 10. 26~63. 11. 12	(1)		
					"	"				
					元	"	元. 8. 13~元. 8. 20	2	} (3,377)	
					"	"	元. 10. 28~元. 11. 7	(2)		
					"	"	2. 3. 3~2. 3. 13	(1)		
					2	"			(1,183)	
6	フォン・パリジャン平野灌 漑計画	地域開発の一環として農業生産力の回復を 図るため破壊されたかんがい施設の復旧・建 設。			60	基本設計(事)	60. 9. 1~60. 9. 18	4	} 30,124	
					"	基本設計	61. 1. 20~60. 2. 7	9		
					2	" (報)	3. 4. 10~3. 5. 9	8		1,790
					3	" (")	3. 9. 30~3. 10. 12	1		42,611
7	農村輸送増強				63				1,258	
8	地方病院医療整備計画	ハイティの6地域の病院の医療機材及び資 材の整備改善計画。本計画を実施するために 必要な救急車並びに機材およびその据え付け に必要な役務の供与、生産物の輸送に必要な 役務の供与。これに必要な資金の供与。 平成2年度は、本格調査団、報告書説明調 査団を派遣した。	3. 7. 18	5. 43	2	基本設計(本)	2. 11. 10~2. 12. 9	7	} 12,722	
					"	" (報)	3. 3. 16~3. 3. 28	5		
					3	基本設計	(国内作業)		27,029	
9	首都圏交通機関整備計画	ハイティの公共輸送力水準はきわめて低 く、現在、首都圏で稼働しているバスは8台 となっている。かかる状況を改善すべく、バ ス30台を調達する計画。これに必要な資金の 供与。			2	実施促進	2. 9. 24~2. 10. 2	2	(2,729)	

ハイティ

ホンデュラス

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ホンデュラス

経費 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員		321,765	185	37,891	20	54,734	26	51,446	32	58,634	42	110,409	40	108,096	47	742,975	392
専 門 家		679,340	52	151,605	6	165,688	(2) 6	157,308	10	207,906	24	227,086	25	345,149	16	1,934,082	(2) 139
調 査 団		1,800,047	297	14,377	10	109,473	34	219,995	43	177,667	33	175,904	33	128,995	47	2,626,458	497
協 力 隊		1,391,091	219	340,413	44	346,915	32	350,863	42	367,264	40	434,615	32	464,329	50	3,695,490	459
移 住 者			2														2
機 材 供 与		730,105		71,223		128,475		150,812		157,599		167,962		277,232		1,683,408	
そ の 他		53,053		4,614		8,336		3,111		879		21,654		1,798		93,445	
合 計		4,975,401	755	620,123	80	813,621	(2) 98	933,535	127	969,949	139	1,137,630	130	1,325,599	160	10,775,858	(2) 1,489

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野	人 数 累 計 (人)	計 画 ・ 行 政		公 共 ・ 公 益 事 業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 観 光		人 的 資 源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員		392	15	19	1	18	23	101	60	9	20	16	14	16	1	6		25		43	1	4	742,975
専 門 家		(2) 139	2			3	18	6	52		(2) 1	6	14	1				11	2	20	2	1	1,934,082
調 査 団		497	17		29	41	20	16	185	5	46	28	46		5			20	2	32		5	2,626,458
協 力 隊		459	3	15	1	2	4	19	69	4	3	20		80		5		80	95	33		26	3,695,490
移 住 者		2							2														
機 材 供 与																							1,683,408
そ の 他																							93,445
合 計		(2) 1,489	37	34	31	64	65	142	368	18	(2) 70	70	74	97	6	11		136	99	128	3	36	10,775,858

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
37年度																						919
38 "	1						1															594
39 "	2							2														
40 "	1						1															660
41 "	1						1															469
42 "																						
43 "	2						2															1,203
44 "	1						1															649
45 "																						
46 "	3						3															2,415
47 "	2	1					1															1,962
48 "	4				1														3			3,383
49 "	4				1		2												1			7,063
50 "	11					1	4								1		4		1			19,832
51 "	10					2	1					1			1		2		3			17,389
52 "	10					2	3				1	2			1				1			19,960
53 "	13		1		3	1	3	3											2			20,226
54 "	13				1	2	3	1				2	1						3			22,193
55 "	13		1		1	1	5	1		1		1	1						1			24,350
56 "	16	1			1		4			4			3								3	26,137
57 "	17	2	1		1	3	5	1		2	1										1	35,123
58 "	18	1	1			2	6	3		1	2			1					1			32,748

ホンデユラス

ホンデユラス

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
59年度	18					3	4	6	1	1	2								1			42,760
60 "	25	2	2			2	5	8		1	1		2						2			41,730
61 "	20	1	4		1		5	4		2					1		1		1			37,891
62 "	26	1					5	3	3	1	2	1	1				7		2			54,734
63 "	32	1	3		2	1	6	6	1	2	2	1	1		1		1		4			53,489
元 "	42	4	4	1	2		8	7	2	2	1	1	3				1		5	1		58,634
2 "	40	1			2	1	10	9	1	2	2	1	1		1		4		5			110,409
3 "	47		2		2	2	12	6	1	1	2	5	2				5		7			108,096
合計	392	15	19	1	18	23	101	60	9	20	16	14	16	1	6		25		43	1	4	745,018

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
50年度																						1,744
51 "	1																1					2,420
52 "	2							2														14,126
53 "	1					1																21,989
54 "																						20,846
55 "	2						1	1														23,560

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
56年度	11					6	1	1		1	1		1									61,061
57 "	1						1															51,679
58 "	6					3		1									2					80,321
59 "	5	1					1	1														127,784
60 "	4					4											2					118,642
61 "																						74,106
62 "	(2)4						1	1		(2)							2					90,654
63 "	4							3										1				101,497
元 "	15					3	1	5			1	2					3					133,512
2 "	17				3	1		4			3	6										162,078
3 "	9										1	6					1	1				228,661
合 計	(2)82	1			3	18	6	19		(2)1	6	14	1				11	2				1,314,689

(注) カッコは国際機関専門家以外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
50年度	2							1			1											2,752
51 "	2						2															15,077
52 "	6							2			1		1								2	28,236

ホンデユラス

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
53年度	18					2	3				5						1				7	88,132
54 "	13										1			4			1				7	154,888
55 "	21						3	3		1	3			1			2		2		6	141,779
56 "	22	1				1		3		1	2			3			3	6	2			153,739
57 "	18							2			2			4			7	3				172,388
58 "	32				1			5			1			7		1	8	6	2		1	225,688
59 "	30	1	1					5						6			6	9	2			249,595
60 "	55	1	2				2	6	1		2			14		1	10	15			1	337,344
61 "	44		2				2	12	1		1			10			5	8	3			380,836
62 "	32		1		1			6						8			8	5	2		1	374,788
63 "	42		2			1	2	5	1	1				7		1	5	10	7			363,712
元 "	40		4	1		1	2	5			1			5		2	6	9	4			415,151
2 "	32		2				1	4						2			9	11	3			447,564
3 "	50		1			1	3	7	1					8			9	13	6		1	476,324
合計	459	3	15	1	2	4	19	69	4	3	20			80		5	80	95	33		26	4,027,993

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No.	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	がん対策用機材	公衆保健省	50	5,209
2	気象水文観測用機材（自記水位計、他）	天然資源省	53	10,525
3	化学毒物検査機材	最高裁判所法医学部	54	13,638
4	車輛整備機材	職業技術庁	55	6,884
5	地質調査用機材	天然資源省水資源局	56	36,054
6	車輛検査用機材	職業技術庁	57	25,112
7	交通関係用機材	大統領府	57	7,886
8	電気通信訓練用機材	通信工業事業運輸省	58	10,832
9	身体障害者訓練用機材	国家社会福祉協議会	58	5,310
10	砂防用調査機材	公共事業局	59	31,280
11	救急車	赤十字社	59	7,062
12	食品加工用機材	INFOPHサンベドロスーラ	60	10,337
13	教員再教育用機材	文部省初中等技術局	60	39,797
14	教員用教育用機材	文部省初中等技術局	61	6,660
15	自動車整備訓練用機材	職業技術庁	62	8,890
16	地下水調査用機材	水資源局	62	19,380
17	地下水調査用機材	水資源局	63	3,003
18	自動車整備実習用機材	職業訓練庁	63	34,562
19	歯科診察用機材	国立社会福祉院	63	8,822
20	灌漑施設用機材	天然資源省水資源局	元	42,282
21	灌漑施設用機材	天然資源省水資源局	2	3,775
22	電気通信用機材	通信公共事業運輸省ホンデュラス電気通信公社	3	69,650
23	家庭科教育実習指導用機材	文部省国立教育大学	3	2,087
24	冷凍空調実習用機材	ルイス・ボグラン工業高校	3	32,135
25	工作機械実習用機材	ホンデュラス工業高校	3	30,034
計	25 件			471,206

ホンデュラス

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

ホンデユラス

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
看護教育強化プロジェクト (The Project on the Fortification of Nursing Education) R/D署名日: 2. 8. 16 協力期間: 2. 9. 1~ 7. 8. 31 所在地: テグシガルバ市 先方関係機関: 厚生省、ホンデユラス国立自治大学 我方協力機関: 厚生省、国際看護交流協会、聖マリア病院	<p>(要請の背景)</p> <p>ホンデユラスは、国民、とりわけ農村地域の住民に対する保健衛生サービスの充実、および乳児死亡率の低下を図ることを基本的保健政策として掲げている。しかしながら、かかる農村地域では保健サービスの担い手である看護婦（多くの地域では地域保健所で勤務する看護婦が予防接種、栄養失調対策、母子保健等の幅広い公衆衛生活動を行っている）が絶対的に不足しており、また、その技術水準も低いところから、住民の保健ニーズに十分対応できないでいた。</p> <p>かかる背景から、同国は、厚生省管轄の准看護婦養成学校および国立自治大学看護学部（正看護婦教育）を対象にしてプロジェクト方式技術協力を要請してきた。</p> <p>(目的・内容)</p> <p>双方で合意された技術協力の目的は</p> <p>1) 緊急に対応が必要な分野における看護教育の理論及び方法の改善</p> <p>2) 看護教育カリキュラムの改善</p>	元	事前調査	元. 12. 5~ 元. 12. 18	4	3,598		4	3,936		7,534	
		2	実施協議	2. 8. 9~ 2. 8. 19	4	10,413	3	5	32,031	人体模型、車輛	69,035	111,479
		3				2,425	4	4	97,487	レコーディングレサシアン、レサシベピー、コンピューター、超音波式ネブライザー、電動式分娩ファントーム、車輛	68,651	168,563

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)					
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)				
							継続	新規								
	<p>3) 農村及び都市周辺部における実践教育技術の改善及び強化</p> <p>4) 看護教育技術の改善</p> <p>5) 看護教育用のテキストの開発及び改善</p> <p>等の5項目とし、これらの分野で5年間にわたり専門家派遣研修員の受け入れ、機材供与を行っていくこととした。 (現状・目標達成)</p> <p>チームリーダー、調整員、看護専門家を派遣した。</p> <p>平成4年度は、6名の長期専門家を配置し、協力を実施中、現在のホ国のカリキュラムを分析し、分析結果に基づくカリキュラムの改善、及び教材の作成を進めている。</p> <p>(カウンターパート受入実績)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年度</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	2	3	人数	1	3									
年度	2	3														
人数	1	3														

ホンデユラス

保健医療協力事業（単発専門家）

ホンデ
ユラス

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
感染症		63				26			1,767		1,793	
保健省医療保健サービ ス開発計画		2						1	2,085		2,085	
		3						1	18,393	1,020	19,413	

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
消化器がん内視鏡		51						1	801		801	
法医学		52						2	1,627	◎ 92	1,719	
泌尿器科学		56						1	1,032	◎ 1,135	2,167	
マラリヤ		57						2	1,922		1,922	

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
テグシガルバ病院		57								内視鏡	9,047	9,047
感染症		元								オートバイ, 保冷車, ワク チン携帯用ボ ックス	13,838	13,838
		2								輸送費, 車輛, 検体輸送用ボ ックスセット	24,990	24,990

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)			
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)				
							継続	新規							
農業開発研修センター The Agriculture Development Training Center 協定等の種類：R/D 署名年月日：58. 5. 19 協力期間： (当初)(R/D) 58. 7. 1~63. 6. 30 (延長) 63. 7. 1~ 2. 6. 30 (F/U) 2. 7. 1~ 4. 6. 30 相手国機関：天然資源 省水資源局 国内協力機関：農林水 産省	ホンデュラス政府は、水稲および畑作の灌漑農業が漸く国家的事業として緒についた段階である同国農業の近代化を一層、促進するため、灌漑技術者の増大、技術向上を目的として、灌漑農業技術訓練センターの設置を計画し、この設立運営に対する協力をわが国に要請してきた。これを受けて昭和55年プロジェクト・ファイディング調査を行ったが、その結果、灌漑技術のみならず、農業技術一般の研修協力をを行うのが望ましいとの勧告がなされたので、これに基づき、昭和56年10月、事前調査団を派遣し、ユマヤグア畜産農業試験場の一角に無償資金協力により新設される同センターに対する技術協力の可能性、内容等につき同国政府と検討協議を行い、併わせて現地調査を実施した。 この調査の結果、灌漑分野をはじめとする農業開発関連分野の技術者を訓練育成することにより、ホンデュラス国内の農地有効利用の促進及び農業生産の増大に資することを目的に、昭和58年7月R/Dに署名が行われ、協力が開始され	56	事前調査	56. 10. 17~ 56. 11. 8	7	⑤ 449 7,514						7,963			
		57	実施設計	58. 2. 23~ 58. 3. 11	4	2,716			1,150				3,866		
		58	"				8,786		5	53,490	建設機材、農業機械、車輛	⑤ 1,903 12,487	} 86,652		
		"	実施協議	58. 5. 10~ 58. 5. 23	5	4,775									
		"	計画打合	59. 3. 18~ 59. 3. 31	5	⑤ 520 4,691									
				59	(同上報告書作成)					4	4	75,648	トラクター、事務機器、農業機械、車輛他	⑤ 7,485 122,987	211,469
				"	巡回指導	60. 3. 17~ 60. 3. 30		5,349							
				60	巡回指導	61. 3. 19~ 61. 3. 28	2	1,852	8	3	86,299	理科学機器、通信機器、気象機器他	⑤ 2,983 83,550	174,684	
				61	巡回指導	62. 3. 11~ 62. 3. 23	3	3,221	6	6	81,594	輸送費、建設土木機器	21,512	106,327	
				62	エバリュエーション	63. 2. 15~ 63. 2. 29	4	4,743	5	2	89,559	耕運機、脱穀機、実験器具、ダンプトラック、ワゴン車	60,330	154,632	
		63	巡回指導	元 3. 26~ 元 4. 8	4	4,347	5	6	79,942	複写機、耕運機、視聴覚機器、土壌PH測定器、車輛、水田水深測定機	60,374	144,663			

ホンデュラス

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
	<p>た。主な事業計画は、①農業開発研修センターを設立する、②天然資源省出先機関、普及組織及び農民指導者等各階層の実務者に対する研修を行う、③農業従事者の意識改革、生活水準の向上に寄与する等である。</p> <p>昭和58年度には、わが国の無償資金協力によるセンターの建物の建設が開始され、第1期工事は、昭和60年3月完工した。また、プロジェクト基盤整備事業による試験圃場の整備が実施された。</p> <p>なお、具体的な事業内容は次の通りである。</p> <p>1) 灌漑施工技術者の訓練に必要な情報・資料の収集及び調査並びに試験・分析</p> <p>2) 上記訓練のための訓練計画、カリキュラム及び教科書の作成</p> <p>3) 訓練内容</p> <p>大学卒の施工技術有資格者に対する農学に力点を置いた上級コース(A)及び大学卒の農学有資格者に対する施工技術に力点を置いた同(B)、高校卒に対する実働面の訓練を内容とする中</p>	元	巡回指導	元 10.5~ 元 10.28	4	4,587	6	4	80,006	オーバーヘッドプロジェクトター、灌漑用ポンプ、セオドライト、農業機械	43,048	127,641
		2				774	4	1	50,000	水質分析器、田植機、ハンディーマノメーター、ダンプトラックスベアパーツ	17,708	68,482
		3				5	3	2	45,729		722	46,456